

行政監査結果報告書

「イベントの実施状況とその成果について」

平成23年3月

香川県監査委員

【 目 次 】

第1	行政監査の趣旨	1
第2	監査のテーマ及び選定理由	1
1	監査のテーマ	1
2	選定理由	1
第3	監査の実施概要	1
1	監査の実施期間	1
2	監査の方法	1
3	事前調査	1
(1)	調査対象年度	1
(2)	調査の対象とするイベント	1
(3)	概要	2
4	監査対象イベントの選定	6
5	監査の主な着眼点	7
第4	イベントの計画等	8
1	イベントを実施する目的	8
2	イベントを実施する必要性	8
3	県職員の人件費を含めた事業費	9
4	イベントの実施主体	10
(1)	開催形式	10
(2)	企業、関係団体からの協力	11
5	イベントの継続実施	12
6	部局間の調整	13
7	類似イベントの把握及び調整	13
8	過去の類似イベントとの統合	15
第5	イベントの実施等	15
1	参加者の負担	15
2	参加者の申込み方法等	16
3	開催日の設定	16
4	会場（場所）の選定	17
5	委託	18
6	実施体制	20
7	無償サービスの提供	20
8	予定参加者数と実績参加者数	21
9	県職員への呼びかけ	22
10	広報の状況	22
11	広報の効果	23
第6	事業効果の把握と活用	23
1	アンケート調査	23

2	成果の活用	25
3	イベントの効果	25
4	効果測定としての目標数値	26
5	費用対効果	27
6	記録	29
第7	財務	30
1	企画競争（コンペ・プロポーザル方式）による委託	30
2	実行委員会	30
第8	危機管理	32
1	リスクの想定	32
2	イベント保険、ボランティア保険の加入	32
第9	環境への配慮（エコイベントマニュアル）	33
1	対象	33
2	運用方針	33
第10	監査の結果及び意見	34
1	総括意見	34
2	共通監査事項（改善・検討事項）	36
(1)	イベントの計画等	36
(2)	イベントの実施等	36
(3)	事業効果の把握と活用	37
(4)	財務	38
(5)	危機管理	39
(6)	環境への配慮（エコイベントマニュアル）	39
3	個別監査事項（改善・検討事項）	40
(1)	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	40
(2)	美術ワークショップイン小豆島 2009	40
(3)	さぬき映画祭 2009	40
(4)	「かがわ山の日」宣言記念第54回香川県植樹祭	42
(5)	「かがわ山の日」宣言記念シンポジウム	42
(6)	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）	42
(7)	09 香川まぢめぐりてくてくさぬき	42
(8)	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト	43
(9)	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	43
(10)	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	44
【資料1】	事前調査に基づくイベント一覧	45～60
【資料2】	イベントの概要	61～84

凡 例

- 1 平成 21 年度に実施したイベントについて、記載している。
- 2 本文中のイベントの名称は、別添資料 1 「事前調査に基づくイベント一覧」のイベントの名称を簡略化しているものがある。
- 3 監査の結果及び意見（P 3 6～P 4 0）の番号は、「監査対象イベント一覧」（P 6～P 7）及び別添資料 2 「イベントの概要」の番号に対応している。

第1 行政監査の趣旨

行政監査は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「自治法」という。）第199条第2項の規定に基づき、県の事務の執行が、法令等の規定に従って適正に行われているだけでなく、経済性、効率性及び有効性などの観点に沿ってなされているかについて、監査を実施するものである。

第2 監査のテーマ及び選定理由

1 監査のテーマ

イベントの実施状況とその成果について

2 選定理由

県において、昭和63年の香川県瀬戸大橋架橋記念博覧会、近年では、平成16年の全国豊かな海づくり大会、平成18年の技能五輪&アビリンピック in かがわ、平成20年の瀬戸大橋開通20周年記念事業、平成22年の瀬戸内国際芸術祭「アートと海を巡る百日間の冒険」（以下「瀬戸内国際芸術祭」という。）などが実施されている。

このような大掛かりなイベントだけではなく、各部局において、県の施策・事業の推進や各種行政活動を行う一環として、様々な目的をもって多種多様な形態・ジャンルのイベントが実施されている。

本県におけるイベントの実施状況を把握するとともに、これらのイベントが、その目的に沿って適正・効率的・効果的に実施されているかなどを検証し、今後の事務の改善に資するために監査を実施する。

第3 監査の実施概要

1 監査の実施期間

平成22年7月から平成23年3月まで

2 監査の方法

事前調査により各部局のイベントの実施状況を把握し、その中から、監査対象イベントを選定し、再度、詳細な調査票により調査を行い、監査委員事務局職員の予備調査（担当所属への書類審査・ヒアリング、実行委員会組織への実地調査）の結果に基づき監査を行った。

3 事前調査

(1) 調査対象年度 平成21年度

(2) 調査の対象とするイベント

調査対象とするイベントとは、特定の行政目的を達成するため、知識、意識を普及したり、連携を深めたり、利用、販売を促進しようとする行事や催し物で、次の要件に合致したものをいう。

ア 県費の支出を伴って実施したイベント

委託料、負担金、補助金等の支出科目の如何にかかわらず、県費の支出を行っているもの。ただし、県職員の人件費や電話代・コピー代等の支出にとどまり、直接的

な経費の支出がないものは除く。

県単独、他の団体との共催、実行委員会形式等で実施したものを調査対象とし、単に後援名義の使用を承認しているものは調査対象から除く。

イ 広く一般県民を対象として実施したイベント

イベントは、フェア、フォーラム、シンポジウム、セミナー、講演会、交流会等の名称にかかわらず、広く一般県民（社会人、子を持つ親、児童・生徒・学生、観光客等）を対象にしたもので、次のイベントを除く。

- (ア) ○○学会、○○市町説明会、小中学校長防災セミナーなど特定の参加者、行政職員、学校職員のみを対象にしたもの。
- (イ) ○○企業見学会、○○合同就職説明会など就職希望者等を対象にしたもの。
- (ウ) ○○功労者知事感謝状贈呈式、○○記念日表彰式など贈呈式、表彰式のみを行うもの。
- (エ) 指定管理者が行う施設の設置目的に沿ったイベント。
- (オ) 美術館、図書館及び栗林公園が実施する施設の設置目的に沿った企画イベント。
- (カ) 香川県コンベンション誘致対策事業補助金及び香川県サポート高松にぎわい創出事業補助金により誘致したイベント。

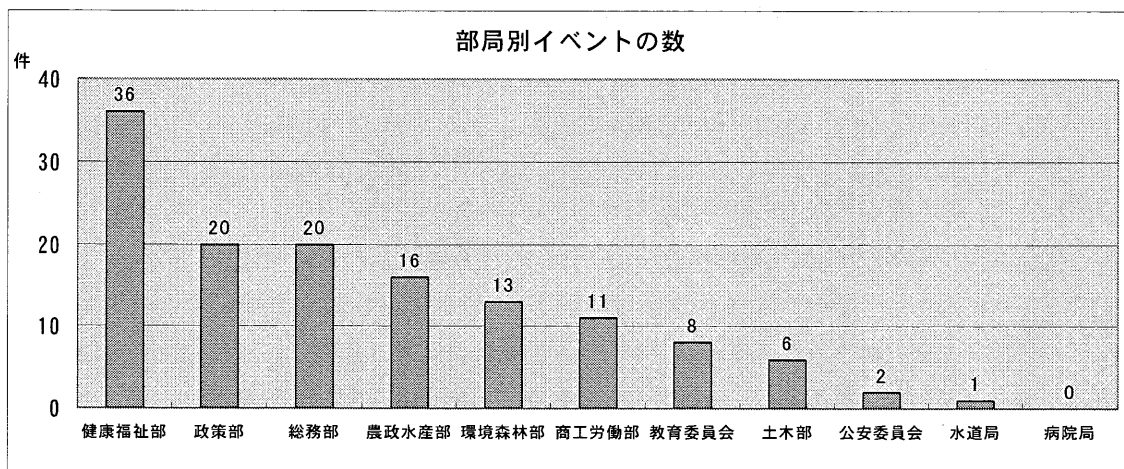
(3) 概要

イベントの定義は、法令等で定められているものでなく、各部局において、県の施策・事業の推進や各種行政活動を行う一環として、県費が支出され、広く一般県民を対象にしたものを上記(2)の「調査の対象とするイベント」に基づき、各部局から報告を受けた。

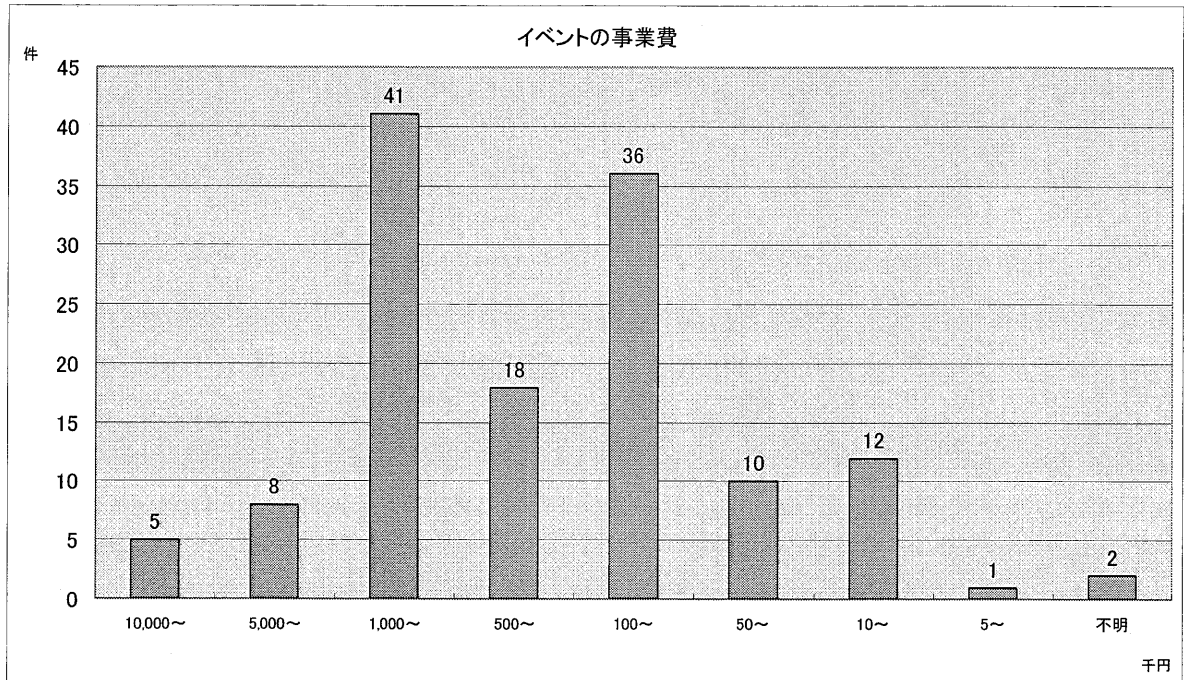
事前調査により、各部局から報告されたイベントは、別添資料1「事前調査に基づくイベント一覧」のとおり133件であった。

これら133件の総事業費は、476,731千円（うち県費支出額は156,425千円）、参加者数は約378万人（「09香川まちあるきてくてくさぬき」の341万人を除くと約37万人）であった。

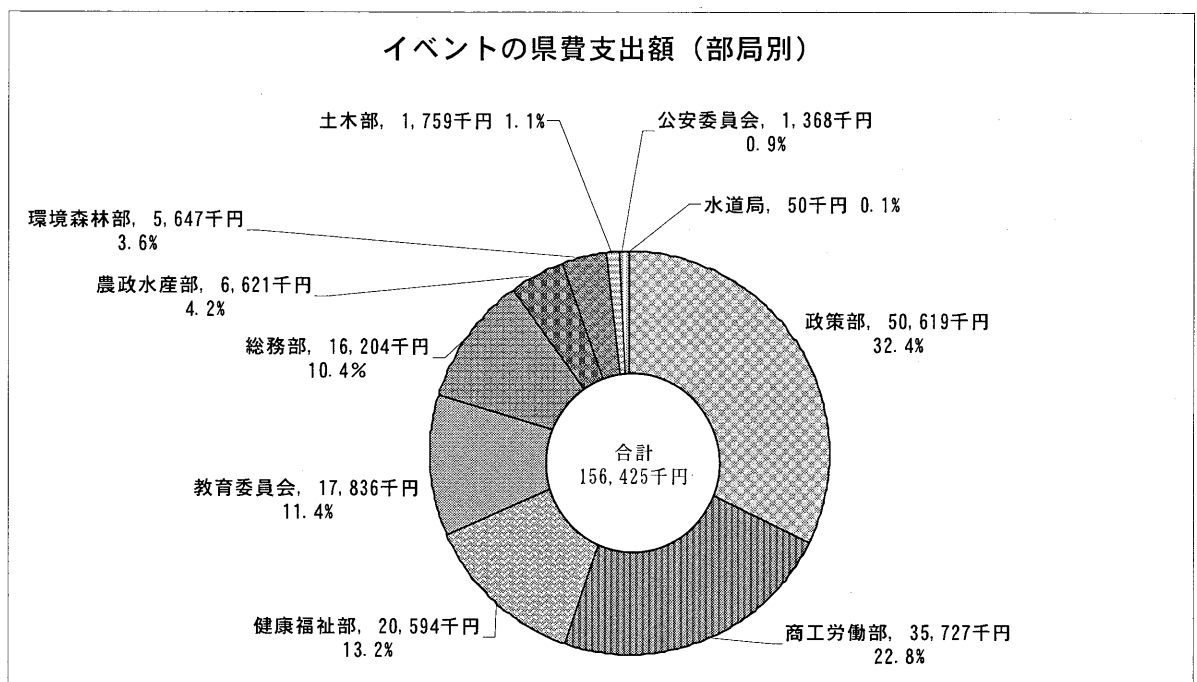
各部局別の数は、数が多い順に健康福祉部が36件、政策部及び総務部が、それぞれ20件、農政水産部が16件などであった。



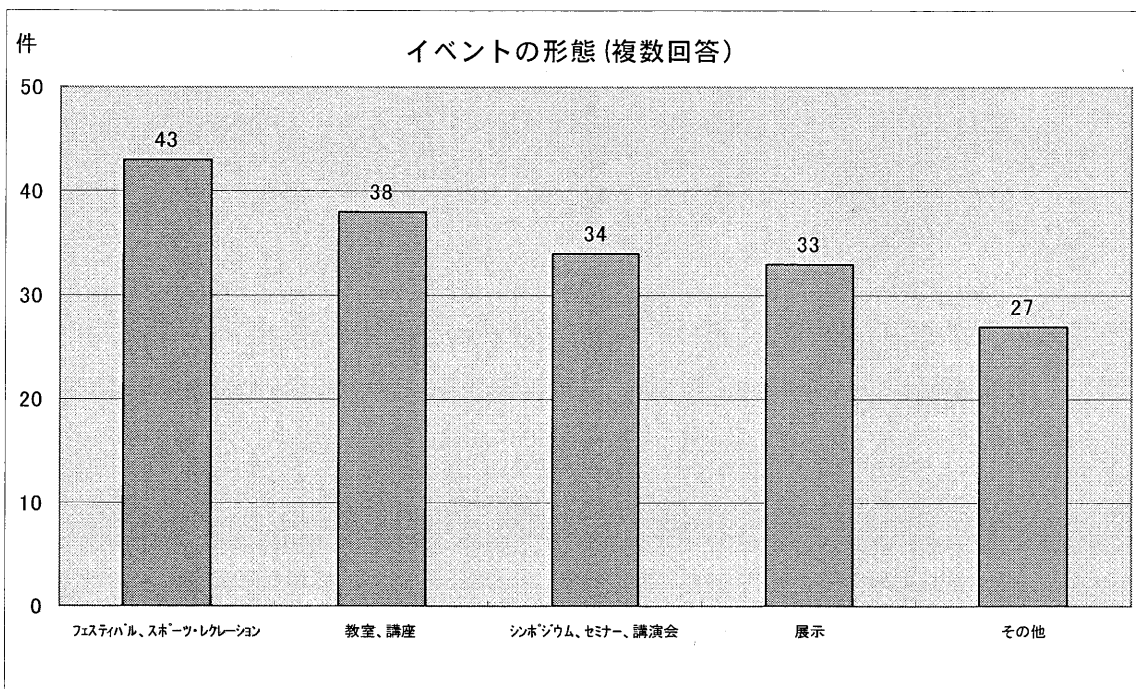
事業費の規模別では、事業費 1,000 千円以上 5,000 千円未満が 41 件、100 千円以上 500 千円未満が 36 件、500 千円以上 1,000 千円未満が 18 件などであった。事業費が多かったのは、「第 2 回高松国際ピアノコンクール」の 147,675 千円、「第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の 94,085 千円などであった。



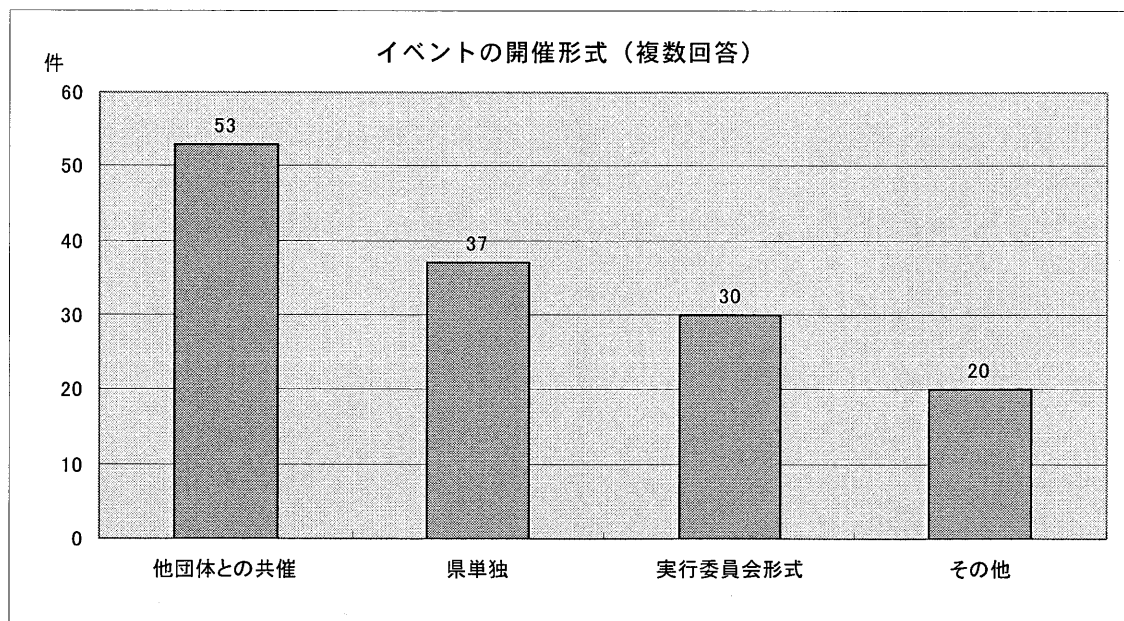
各部局別の県費の支出額は、金額が多い順に政策部 50,619 千円 (32.4%)、商工労働部 35,757 千円 (22.8%)、健康福祉部 20,594 千円 (13.2%) などであった。



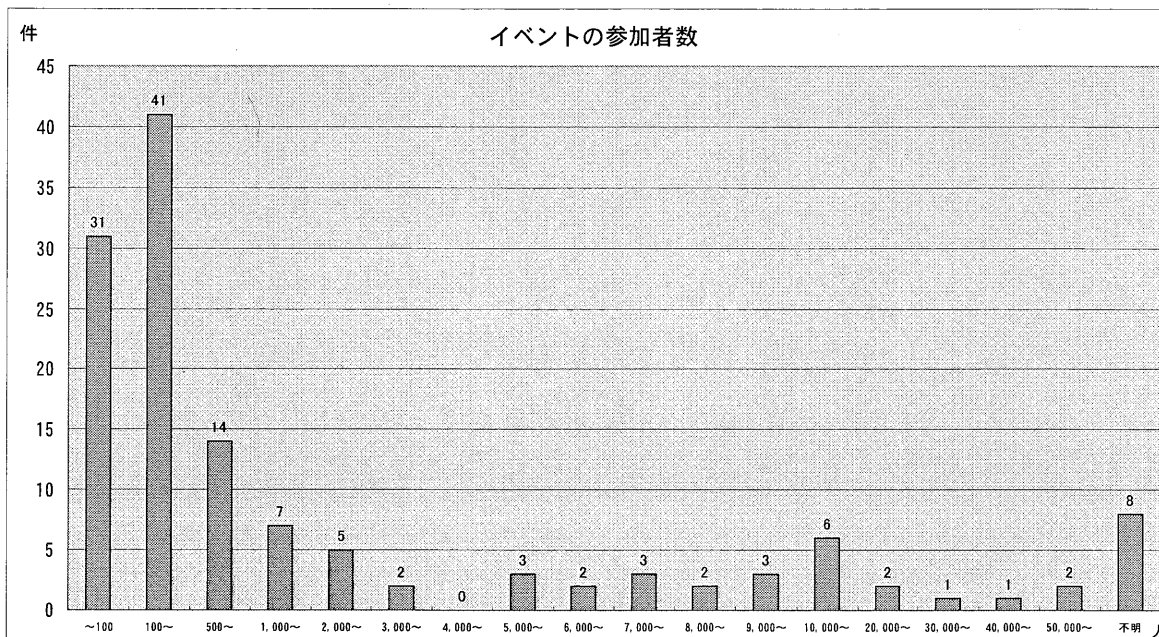
イベントの形態については、数の多い順に、「フェスティバル、スポーツ・レクリエーション」が43件、「教室・講座」が38件、「シンポジウム、セミナー、講演会」が34件、「展示」が33件などであった。（複数回答）



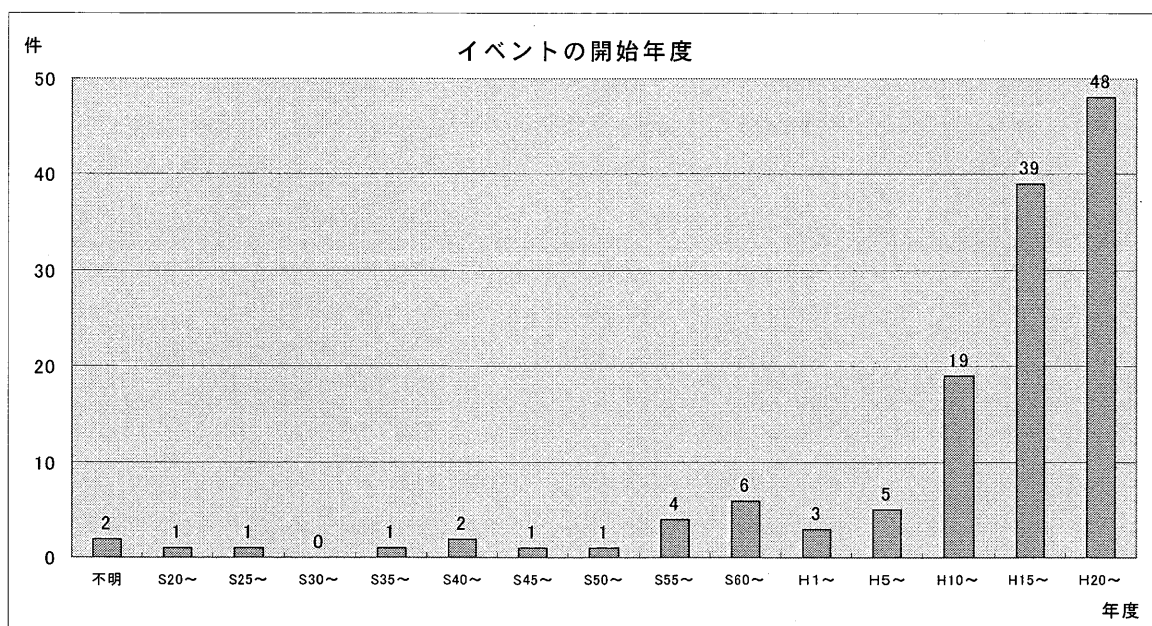
イベントの開催形式については、数の多い順に「他団体との共催」が53件、「県単独」が37件、「実行委員会形式」が30件などであった。（複数回答）



イベントの参加者数は、数の多い順位に「100人以上 500人未満」が41件、「100人未満」が31件、「500人以上 1,000人未満」が14件で、参加人数1,000人未満のものが全体の65%を占めている。最も参加人数が多いものは、「09 香川まちあるきてくさぬぎ」の3,405,570人であった。



イベントの開始年度は、数の多い順に「平成20年度以降」が48件、「平成15年度以降から平成19年度まで」が39件、「平成10年度以降から平成14年度まで」が19件で、平成10年度以降開始したものが全体の80%を占めている。最も開始年度が古いものは、昭和22年の「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」（当時の名称は「香川マラソン大会」）であった。



4 監査対象イベントの選定

次の基準に基づき、事前調査の対象となった平成 21 年度実施の 133 イベントから 24 イベントを監査対象イベントに選定した。ただし、部局間で偏りがないように一部調整を行った。

- (1) 県費の支出額が大きいもの。
- (2) 参加者 1 人当たりの県費の支出額が大きいもの。
- (3) 原則、平成 22 年度も実施するもの。

監査対象イベントは、次のとおりである。(詳細については、別添資料 2 「イベントの概要」を参照)

監査対象イベント一覧

(単位：円、人)

番号	イベントの名称	事業費	県費	参加者数	参加者 1 人の県費	開始年度	課(所)名
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪	181,140	181,140	5,200 (22) ()は香川ブース訪問者数	8,234	H19	政策課
2	水のフェスティバル in 府中湖	7,004,340	2,000,000 (うち水道局 1/2 負担)	11,000	182	H11	水資源対策課
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	7,541,255	7,541,255	団員数 145 (定期演奏会 850)	52,009	H13	文化振興課
4	美術ワークショップ in 小豆島 2009	3,455,390	3,455,255	117	29,532	H13	文化振興課
5	さぬき映画祭 2009	25,762,255	10,305,458	7,231 (映画上映の入場者数)	1,425	H18	文化振興課
6	くらしの見守り隊研修会	2,432,612	2,432,612	880	2,764	H19	県民活動・男女活動共同企画課
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	512,362	512,362	167	3,068	H21	県民活動・男女活動共同企画課
8	平成 21 年度総合防災訓練	3,872,662	3,572,662	1,000	3,573	S51	危機管理課
9	「かがわ山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭	3,792,839	3,792,839	260	14,588	S26	みどり整備課
10	「かがわ山の日」宣言記念 シンポジウム	928,809	261,450	300	872	H21	みどり整備課
11	福祉・介護について考える シンポジウム等	3,990,000	3,990,000	894	4,463	H21	健康福祉総務課
12	香川県 8020 運動推進業務 (口腔保健啓発業務)	6,600,000	2,000,000	8,099	247	S57	健康福祉総務課
13	家族で食べたいバランス メニューコンテスト	118,075	118,075	216 (応募者)	547	H20	西讃保健福祉事務所
14	第 29 回サンサン祭り	4,395,400	1,800,000	30,000	60	S56	障害福祉課
15	国外・国内知的財産相談会	116,540	116,540	13 人 (6 件)	8,965	H20	産業政策課

16	高温高圧流体技術研究所の 成果発表・特別講演会	207,328	207,230	53	3,910	H11	産業政策課
17	09香川まぢめぐりてくてく さぬき	33,743,621	33,734,235	3,405,570	10	H21	観光振興課
18	フラワーフェスティバル かがわ2010	5,148,006	1,345,000	50,000	27	S63	農業生産流通課
19	第9回かがわの農村・ふるさと と景観写真コンテスト	713,120	458,580	74人 (152点)	6,197	H12	農村整備課
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ ツーリズム体験ツアー	45,720	45,720	8	5,715	H17	農村整備課
21	住まいづくり講座	160,630	160,630	44	3,651	H12	住宅課
22	第20回県民スポーツ・レクリ エーション祭	1,717,406	1,400,000	9,339	150	S63	(教育委) 保健体育課
23	第64回香川丸亀国際ハーフ マラソン大会	94,085,269	12,500,000	8,932	1,399	S22	(教育委) 保健体育課
24	防犯アカデミー2009	458,636	213,730	166	1,288	H20	(公安委) 生活安全企画課

5 監査の主な着眼点

(1) イベントの計画等

- ア 実施の目的及び必要性は適切か。
- イ 県職員の人件費を把握しているか。
- ウ 実施主体は適切か。
- エ 継続実施する必要性はあるか。
- オ 部局間の連携や類似イベントとの調整は行われているか。

(2) イベントの実施等

- ア 参加者の費用負担は適切か。
- イ 申込み方法は適切か。
- ウ 開催日、会場の設定は適切か。
- エ 委託は適切に行われているか。
- オ 実施体制及び無償サービスは適切か。
- カ 予定した参加者数が集まったか。
- キ 県の無償の広報媒体を活用しているか。
- ク 広報の効果を把握しているか。

(3) 事業効果の把握と活用

- ア アンケート調査を実施しているか。
- イ 成果を活用しているか。
- ウ 効果を検証しているか。
- エ 費用対効果の分析を行っているか。

(4) 財務

- ア 企画競争（コンペ・プロポーザル方式）の手続等は適切か。

イ 実行委員会形式の会計処理は適切か。

(5) 危機管理

ア リスクの想定を行っているか。

イ イベント保険、ボランティア保険には適切に加入しているか。

(6) 環境への配慮（エコイベントマニュアル）

ア 契約書、仕様書に環境配慮を明記しているか。

イ エコイベント実施状況報告書を提出しているか。

第4 イベントの計画等

1 イベントを実施する目的

監査対象 24 イベントを実施する目的は、「県民の参加体験機会の提供」が 14 件、「特定事項の周知・情報提供」が 12 件、「県民の参加による協働、連携の推進」が 8 件などであった。（複数回答）

イベントを実施する目的（複数回答）

県民の参加体験機会の提供	特定事項の周知・情報提供	県民の参加による協働、連携の推進	地域資源のPR	特定のものの利用・販売促進	その他	計
14	12	8	7	1	8	50

イベントの目的については、「検討した」が 16 件、「毎年、定期的実施することに意義があり、特段の検討を行っていない」が 5 件、「法令・補助金交付要綱上、イベントの実施が義務付けられているので、特段の検討を行っていない」が 1 件などであった。

イベントの目的についての検討

検討した	毎年、定期的実施することに意義があり、特段の検討を行っていない	法令・補助金交付要綱上、イベントの実施が義務付けられているので、特段の検討を行っていない。	他県でも実施しており横並びで実施するので、特段の検討を行っていない	その他	計
16	5	1	0	2	24

2 イベントを実施する必要性

何らかの特定行政目的があり、それを達成するためにイベントを実施したり、特定行政目的を達成するための施策の一環としてイベントを実施するが、その際、イベント以外の方法について「検討した」が 10 件、「イベントの実施が目的であり、検討していない」が 5 件、「他の方法がないため、検討していない」が 4 件、「毎年、イベントの方法で実施しており、検討していない」が 3 件などであった。

イベント以外の方法の検討

検討した	イベントの実施が目的であり、検討していない	他の方法がないため、検討していない	毎年、イベントの方法で実施しており、検討していない	その他	計
10	5	4	3	2	24

イベント以外の方法について検討した上記10件のうち、イベントとその他の方法について、「県職員等の人件費を含まないが、費用について比較検討した」が1件（「18 フラワーフェスティバルかがわ 2010」）、「費用面を除き、何らかの比較検討をした」が5件であり、「県職員等の人件費を含めて、費用全般にわたり比較検討した」は0件であった。

「費用面を除き、何らかの比較検討をした」については、事業効果での比較や他の事業と併せて実施することが効果的であるなどの理由であった。

3 県職員の人件費を含めた事業費

イベントの事業費にイベントの準備期間・実施期間に係る県職員等の人件費を含めて事業費を試算したものが、次の表のとおりである。

イベントを実施するための準備から実施期間までの県職員等の人件費は、0円から20,660,000円までと幅があり、24イベントの合計では48,997千円であった。「17 09 香川まちめぐりてくてくさぬき」が20,660千円、「5 さぬき映画祭 2009」8,053千円、「8 平成21年度総合防災訓練」3,780千円（西讃土木事務所等分含む）の順である。

県職員等の人件費を事業費に含めると、事業費は、23.7%増加し、最も増加率が大きいものは、「24 防犯アカデミー2009」の591.3%増加である。

イベントを実施するに当たり、当然、県職員等の人件費が発生するものであり、イベントの事業費を把握する場合は、県職員等の人件費を加えて総事業費を把握する必要がある。

県職員の人件費を含めた事業費

(単位：円、%)

番号	イベントの名称	事業費①	人件費②	人件費を含めた事業費 ③ = ①+②	③/①×100 (%)
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪	181,140	57,000	238,140	131.5
2	水のフェスティバル in 府中湖	7,004,340	95,000	7,099,340	101.4
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	7,541,255	473,000	8,014,255	106.3
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	3,455,390	643,000	4,098,390	118.6
5	さぬき映画祭 2009	25,762,255	8,053,000	33,815,255	131.3
6	くらしの見守り隊研修会	2,432,612	180,000	2,612,612	107.4
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	512,362	132,000	644,362	125.8
8	平成21年度総合防災訓練	3,872,662	3,780,000	7,652,662	197.6

9	「かがわ 山の日」宣言記念 第54回香川県植樹祭	3,792,839	1,578,000	5,370,839	141.6
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポ ジウム	928,809	1,512,000	2,440,809	262.8
11	福祉・介護について考えるシンポジ ウム等	3,990,000	1,550,000	5,540,000	138.8
12	香川県8020運動推進業務（口腔保 健啓発業務）	6,600,000	123,000	6,723,000	101.9
13	家族で食べたいバランスメニュー コンテスト	118,075	529,000	647,075	548.0
14	第29回サンサン祭り	4,395,400	95,000	4,490,400	102.2
15	国外・国内 知的財産相談会	116,540	49,000	165,540	142.0
16	高温高压流体技術研究所の成果発 表・特別講演会	207,328	0	207,328	100.0
17	09 香川まちめぐりてくてくさぬき	33,743,621	20,660,000	54,403,621	161.2
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	5,148,006	1,909,000	7,057,006	137.1
19	第9回かがわの農村・ふるさと景観 写真コンテスト	713,120	284,000	997,120	139.8
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツ ーリズム体験ツアー	45,720	189,000	234,720	513.4
21	住まいづくり講座	160,630	198,000	358,630	223.3
22	第20回県民スポーツ・レクリエー ション祭	1,717,406	1,455,000	3,172,406	184.7
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソ ン大会	94,085,269	2,741,000	96,826,269	102.9
24	防犯アカデミー2009	458,636	2,712,000	3,170,636	691.3
計		206,983,415	48,997,000	255,980,415	123.7

注1) 1人日を県職員18,900円、嘱託職員8,850円、臨時職員6,860円として計算している。

注2) 24イベントの準備期間は1,163.5人日、実施期間は1,679.1人日で計算している。

注3) 人日は、1日を8時間として換算している。

4 イベントの実施主体

(1) 開催形式

イベントの開催形式は、「共催」が9件、「県単独開催」及び「実行委員会形式」がそれぞれ7件などであった。（複数回答）

「その他」は、協議会形式であるが事務局組織がなく県費直接執行のものが3件、補助が1件、負担金を支出してフェアに参加するものが1件である。

イベントの開催形式（複数回答）

共催	県単独開催	実行委員会形式	その他	計
9	7	7	5	28

上記で「県単独開催」で実施している場合、今後、他の団体（国、市町、NPO法人、関

係団体等) と共催又は実行委員会形式で実施することを検討しているものが2件、検討していないものが5件であった。

上記で「共催」又は「実行委員会形式」で実施している場合、県の関与を強めるよう検討しているものが2件、県の関与を弱め、他の団体等が主となるように検討しているものが4件、特に検討していないものが5件であった。

(2) 企業、関係団体からの協力

イベントを実施するに際し、企業、関係団体から協賛金(広告料)等により資金的な援助を受けているもの、又は協賛金等以外の物的・人的な援助を受けているものは、次の表のとおりである。

企業、関係団体から何らかの援助を受けているイベントは10件であり、その内訳として、協賛金(広告料)等により援助を受けているものは5件、協賛金等以外の物的・人的な援助を受けているものは9件、両方の援助を受けているものは4件であった。

協賛金(広告料)等の依頼方法については、文書で依頼していたが、「23 第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」については、事業規模が大きいこと、協賛金額が多いことなどから、文書での依頼と併せて県職員が協賛企業等を訪問して依頼していた。

協賛金(広告料)等以外の物的・人的な援助は、副賞の提供、自社製品の提供、人の派遣などであった。

企業・関係団体からの協賛金・援助

番号	イベントの名称	協賛金等の資金的な援助	協賛金等以外の物的・人的な援助
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪		
2	水のフェスティバル in 府中湖	○	
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業		
4	美術ワークショップイン小豆島 2009		
5	さぬき映画祭 2009		○
6	くらしの見守り隊研修会		
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー		
8	平成 21 年度総合防災訓練		
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭	○	○
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム		
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等		
12	香川県 8020 運動推進業務(口腔保健啓発業務)		○
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト		○
14	第 29 回サンサン祭り	○	○
15	国外・国内 知的財産相談会		
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会		
17	09 香川まちめぐりてくてくさぬき		
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010		○

19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト		○
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー		
21	住まいづくり講座		
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	○	○
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	○	○
24	防犯アカデミー2009		
計		5	9

5 イベントの継続実施

イベントを継続して実施している場合、継続することの是非について、「検討した」が16件、「検討していない」が7件であった。(単年度事業は除く。)

継続の是非についての検討

検討した	検討していない	計
16	7	23

「検討していない」7件の理由については、「過去から継続して実施しているので、検討の必要がない」、「個別計画等において計画期間までの開催が定められている」、「機会を提供しているので継続して実施する必要がある」などの回答があった。

次に、イベントの実施回数を毎年実施から隔年実施にしたり、年間回数を減らすといった実施の頻度を削減することについて、「検討している」が10件、「検討していない」が13件であった。(単年度事業は除く。)

実際に、イベントの実施の頻度を削減することが困難であるとする理由としては、年1回実施することが慣例になっていること、年に1回、行事週間が設定されていること、及び継続して実施することが重要であるというものがあつた。

実施の頻度を削減することの検討

検討している	検討していない	計
10	13	23

監査対象の24イベントの中で、今後、終了する予定であるものは、次の3件である。

今後、終了する予定のイベント

番号	イベントの名称	終了予定年度	終了する理由
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	23	消費者行政活性化基金が終了するため
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	23	障害者自立支援臨時特例基金が終了するため
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト	22	イベントの効果が達成されたため

継続して実施している23イベントについて、イベントの内容等を毎回、「見直している」

が22件、「見直していない」が1件であり、ほとんどのイベントでは、開催ごとに、その内容等を見直していた。

平成21年度、又は平成22年度に見直した内容等の項目については、次のとおりである。
(複数回答)

平成21年度に見直したイベントの内容等（複数回答）

内容	規模	実施時期	実施期間	対象者	その他	計
14	5	5	4	3	5	36

平成22年度に見直したイベントの内容等（複数回答）

内容	規模	実施期間	実施時期	対象者	その他	計
14	6	5	4	4	8	41

平成23年度以降に、イベントの内容を大幅に見直す予定にしているものは、次の3件である。(終了(予定)のもの除く。)

番号	イベントの名称	見直し年度	見直し理由
6	くらしの見守り隊研修会	23	消費者行政活性化基金が終了するため
12	香川県 8020 運動推進業務(口腔保健啓発業務)	23	治療から予防へ、予防から健康増進への時代のニーズに合わせた内容の見直し等が必要なため
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会	23	高温高圧流体技術研究所のあり方を見直す予定であり、その中で講演会についても見直すため

6 部局間の調整

イベントの内容によっては、県の他の部局と調整・連携を行う必要が出てくる場合があるが、「調整・連携を行っている」が15件、「調整・連携を行っていない(行う必要がない)」が9件であった。

部局間での調整・連携の内容については、宝くじ財源の確保等の財源調整のものから、講演依頼、関係団体の参加要請など、実際のイベントの事業内容に関する調整・連携まで様々であり、それぞれのイベントによって、調整・連携する事項は異なっていた。

部局間の調整・連携

調整・連携を行っている	調整・連携を行っていない(行う必要がない)	計
15	9	24

7 類似イベントの把握及び調整

イベントによっては、別の機関(県庁の他課を含む。)が類似のイベントを実施している場合があり、類似のイベントがあるかどうかを把握し、その目的、趣旨、対象者等が同じであれば、類似イベントと調整を行う必要がある。

類似イベントを「把握している」が23件、「把握していない」が1件であり、類似イベントを把握している23件のうち、実際に、類似イベントがあったものは、10件であった。

類似イベントの把握

把握している	把握していない	計
23	1	24

その10件のうち、内容等の調整を行ったものが3件、類似しているが目的・趣旨が異なっているとして、調整に至らなかったものが7件であった。

内容等の調整を行ったもの

番号	イベントの名称	類似イベントの名称	機関名	調整内容
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム	四国山の日イベント	四国森林管理局	実施時期が重ならないよう調整
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト	観音寺ご当地料理コンテスト	観音寺商工会議所青年部	類似イベントが平成21年度実施されないことを確認した上で実施
18	フラワーフェスティバルかがわ2010	たかまつ食と農のフェスタ きらり読者の集い	高松市 JA香川県	同時開催

内容等の調整に至らなかったもの

番号	イベントの名称	類似イベントの名称	機関名	調整をしなかった理由
1	ふるさと回帰フェア2009 in 大阪	香川県 UJI ターン転職相談会 新・農業人フェア2009	労働政策課 農業経営課	趣旨・内容が異なるため
9	「かがわ 山の日」宣言記念第54回香川県植樹祭	直島町みどり推進事業	直島町	実施時期、実施場所が異なるため
15	国外・国内 知的財産相談会	弁理士による産業財産権相談事業	産業政策課	対象とする相談内容が異なるため
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会	産業技術センター等の研究機関による成果発表	産業政策課等	研究内容が異なっているため
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	三木町グリーン・ツーリズムモニターツアー	三木町	三木町内だけの活動のため
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	健康ウォーキング 直島「あゝ歩こう」	東讃保健福祉事務所	事業の目的が異なるため
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	瀬戸内海トータル・フルマラソン 小豆島オーブ マラソン全国大会	土庄町等 小豆島オーブマラソン全国大会推進会等	規模、対象者、距離が異なるため

8 過去の類似イベントとの統合

過去に類似イベントとの統合を行っていたものは、次の2件であった。

イベントの目的、趣旨が同じ若しくは関連しているもので、統合して実施した方が、より効果が高まるものについては、統合を検討する必要がある。

過去に類似イベントの統合を行ったもの

番号	イベントの名称	統合年度	統合されたイベント	左のイベントの担当課
8	平成 21 年度総合防災訓練	12	震災対策総合訓練	危機管理課
21	住まいづくり講座	22	高齢化対策住宅講座	住宅課

第5 イベントの実施等

1 参加者の負担

イベントに参加するために参加者が参加料を支払う必要があるもの、及びイベントに来場することは無料であるが特別のサービス（研修、講座等）を受ける場合に対価を支払う必要があるものは、9件であった。

また、無料の15件のうち、今後、有料化を検討しているのは、「7 消費生活相談員養成のための基礎セミナー」1件であった。

参加者の負担

番号	イベントの名称	(一部) 有料	無料
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪		○
2	水のフェスティバル in 府中湖	○	
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	○	
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	○	
5	さぬき映画祭 2009	○	
6	くらしの見守り隊研修会		○
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー		○
8	平成 21 年度総合防災訓練		○
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭		○
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム		○
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等		○
12	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）		○
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト		○
14	第 29 回サンサン祭り		○
15	国外・国内 知的財産相談会		○
16	高温高压流体技術研究所の成果発表・特別講演会		○
17	09 香川まちなめぐりてくてくさぬき	○	
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	○	

19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト		○
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	○	
21	住まいづくり講座		○
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	○	
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	○	
24	防犯アカデミー2009		○
計		9	15

2 参加者の申込み方法等

事前に参加者の募集定員を定めているものが16件、定めていないものが8件であり、前者16件の募集定員の設定根拠については、次のとおりであった。(複数回答)

ほとんどのイベントにおいて、会場の収容能力、スタッフの対応能力、前年度の参加者数により、募集定員を設定していた。

募集定員の設定根拠 (募集定員を定めている16イベント。複数回答)

会場の収容能力	スタッフの対応能力	前年度の参加者数	その他	計
11	6	2	4	23

事前に参加申込みを募った方法については、次のとおりであった。(複数回答)

「FAX」及び「電子メール」が、それぞれ10件、「申込書・はがき」が7件、「電話」が5件などであった。

参加申込みの方法 (複数回答)

FAX	電子メール	申込書・はがき	電話	その他	計
10	10	7	5	9	41

また、応募多数の場合の選考方法(先着順、抽選など)を決めていたのは、14件であった。

3 開催日の設定

イベントを開催する日を設定する場合には、参加者が参加しやすいよう、様々な要件を考慮する必要があるが、その考慮した要件については、次のとおりであった。(複数回答)

「集まりやすい曜日」が16件、「季節的要素」が15件、「事業日程に即した日程」及び「集まりやすい時間帯」がそれぞれ10件、「他のイベントとの同時開催」が2件などであった。

開催日の設定するに当たり考慮した点 (複数回答)

集まりやすい曜日	季節的要素	事業日程に即した日程	集まりやすい時間帯	他のイベントとの同時開催	その他	計
16	15	10	10	2	9	62

4 会場（場所）の選定

講座・研修形式のイベントを実施する会場を選定する上で、検討した事項は次のとおりであった。（複数回答）

「利便性」が 17 件、「収容能力」が 16 件などであり、「利便性」のなかでは、駐車場、公共交通機関を特に考慮していた。

また、県の会議室や関係市町等の会議室といった無料、安価な料金の会場についても、検討していたようであるが、土・日曜日に会議室を使用するイベントが多いこと、収容能力の関係から、実際に県の会議室や関係市町等の会議室を使用しているイベントは少なかった。

会場の選定に当たり検討した事項（複数回答）

利便性						収容能力	空き具合	予算
	駐車場	公共交通	バリアフリー	保育	その他			
17	14	13	4	0	1	16	8	8

職場からの距離	その他	計
1	8	58

平成 21 年度実施分において、前回と同じ会場（場所）で行ったイベントは、次のとおり、12 件である。

自前の施設において会議室等を使用する場合や、イベントの規模・内容から、同じ会場（場所）でないと実施できない場合は、同じ会場（場所）でイベントを実施することはやむ得ないと思われるが、イベントの目的、内容から特定の会場（場所）に限定するのではなく、他の会場（場所）で実施した方が効果的であるものや、県内を数ブロックに分け、巡回して実施する方が適当なものについては、会場（場所）の選定について工夫が必要である。

現在と同じ会場（場所）を継続して使用しているもの

番号	イベントの名称	事業開始年度	現在の会場（場所）を最初に使用した年度
2	水のフェスティバル in 府中湖	平成 11 年度	平成 11 年度
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	平成 13 年度	平成 13 年度
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	平成 13 年度	平成 14 年度
5	さぬき映画祭 2009	平成 18 年度	平成 19 年度
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト	平成 20 年度	平成 20 年度
14	第 29 回サンサン祭り	昭和 56 年度	平成 16 年度
15	国外・国内 知的財産相談会	平成 20 年度	平成 20 年度
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会	平成 11 年度	平成 11 年度
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	昭和 63 年度	平成 6 年度

19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト	平成12年度	平成12年度
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	昭和63年度	平成19年度
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会(丸亀陸上競技場)	昭和22年度	平成11年度

5 委託

イベントの実施については、直営で行う場合、企画・運営など全てを委託する場合、警備業務、会場設営など一部の業務を委託する場合がある。監査対象24イベントの委託状況は、次のとおりである。

委託状況

番号	イベントの名称	全部委託	一部委託	直営等
1	ふるさと回帰フェア2009 in 大阪			○
2	水のフェスティバル in 府中湖		○	
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	○		
4	美術ワークショップイン小豆島2009	○		
5	さぬき映画祭2009		○	
6	くらしの見守り隊研修会	○		
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	○		
8	平成21年度総合防災訓練		○	
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第54回香川県植樹祭		○	
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム		○	
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	○		
12	香川県8020運動推進業務(口腔保健啓発業務)	○		
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト			○
14	第29回サンサン祭り		○	
15	国外・国内 知的財産相談会			○
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会			○
17	09香川まぢめぐりてくてくさぬき		○	
18	フラワーフェスティバルかがわ2010		○	
19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト			○
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー			○
21	住まいづくり講座			○
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭		○	
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会		○	
24	防犯アカデミー2009			○
計		6	10	8

委託する理由は、「外部の業者等の専門的な技術・知識を利用することで事業効果が高まる」が 10 件、「実施主体が直接実施することが困難」が 5 件、「直営に比べ経済的に優れている」が 2 件などであった。(複数回答)

委託する理由 (複数回答)

番号	イベントの名称	委託内容	委託の理由			
			1	2	3	4
2	水のフェスティバル in 府中湖	警備業務	○			
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	イベント自体				○
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	イベント自体				○
5	さぬき映画祭 2009	上映業務、フィルム調達業務 こどもワークショップ業務	○		○	
6	くらしの見守り隊研修会	イベント自体				○
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	イベント自体				○
8	平成 21 年度総合防災訓練	会場設営等			○	
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭	植栽補助業務、会場設営業務	○			
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム	会場設営・音響・照明・看板作成等業務	○			
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	イベント自体	○			
12	香川県 8020 運動推進業務 (口腔保健啓発業務)	イベント自体	○	○	○	
14	第 29 回サンサン祭り	会場設営業務、警備業務	○			
17	09 香川まちなめぐりてくてくさぬき	さぬき食フェスタ会場設営・運営業務、広告・広報業務	○			
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	会場設営・交通整理・会場清掃業務	○	○	○	
22	第 20 回県民スポーツ・レクリエーション祭	会場設営			○	
23	第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	記録計測業務、会場設営業務 警備業務、規制看板等制作業務、参加申込受付・処理業務	○			
計			10	2	5	4

- 1 外部の業者等の専門的な技術・知識を利用することで事業効果が高まる
- 2 直営に比べて経済的に優れている
- 3 実施主体が直接実施することが困難
- 4 その他

委託している 16 イベントについて、直営とのコスト比較の状況は、次のとおりであり、「コスト比較を行っていない」が 12 件、「人件費を含めて数字を用いてコスト比較した」が 2 件などであった。

専門的な技術・知識を必要とせず直営でも実施できる業務を委託する場合は、直営で実施する場合とのコスト比較を行うことが望ましい。

委託の場合の直営とのコスト比較

コスト比較を行っていない	人件費を含めてコスト比較をした	人件費を含まないがコスト比較をした	その他	計
12	2	0	2	16

何らかの業務を委託している 16 イベントのうち、委託先が参加者の個人情報を取り扱うものが 11 件あったが、全てにおいて、契約書又は県個人情報取扱委託基準に基づく取扱特記事項により個人情報の適正な取扱いを明記していた。

ただし、再委託先での個人情報の取扱いが不明確なものが、1 件あった。

6 実施体制

イベントを実施するためには、スタッフ（県職員等を含む。）を動員する必要がある、一番多くスタッフを動員しているものは、「23 第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の 3,041 人（うちボランティア数 1,775 人）であり、監査対象の 24 イベントのスタッフ数の合計人数は、延べ 7,858 人（うちボランティア延べ人数 3,927 人）であった。

スタッフ数の充足状況では、「23 第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」において沿道での水の手渡し（給水）でスタッフが不足したものの、他のイベントでは、充足していた。

7 無償サービスの提供

参加者の利便性やイベントの効果を高めたり、イベント内容について理解を深めてもらうために、無償でサービスを提供していた。その状況は、次のとおりであり、多い順に「無償での物品の提供」が 6 件、「無償での試食・試飲等の提供」が 3 件などであった。

無償で提供している物品のなかに、市販の問題集など本来、参加者が自己負担することが望ましいものがないか検証する必要がある。

また、無償で提供している物品について、イベントで提供する数（参加者数）以上の物品を発注しているものがあり、問題も見られた。

無償サービスの内容

番号	イベントの名称	無償での物品の提供		無償での試食・試飲等の提供		その他	
		○		○		○	
2	水のフェスティバル in 府中湖	○	（節水展：クリアフィル、シール、ティッシュ）餅、記念タオル	○	水の試飲		
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	○	消費生活アドバイザー試験過去問題集				
8	平成 21 年度総合防災訓練					○	炊き出し試食（訓練の一環）
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭	○	県産ヒノキペン立て				
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	○	ウエットティッシュ	○	県産品の試食・栄養指導		
12	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）	○	歯ブラシ			○	ゲームの景品 紙芝居等
17	09 香川まぢめぐりてくてくさぬき					○	ラリーポイント抽選会の景品（携帯ゲーム機、QUO カード、お菓子）

18	フラワーフェスティバル かがわ 2010				○	花き品評会参加 賞・副賞	
22	第 20 回県民スポーツ・レ クリエーション祭				○	ｽﾌﾟｰﾙ抽選会 の景品	
23	第 64 回香川丸亀国際ハ ーフマラソン大会			○	うどん接待の割 引	○	マッサージ
24	防犯アカデミー2009	○	防犯グッズ、テキスト				
計		6		3		6	

8 予定参加者数と実績参加者数

実施計画上の予定参加者数（延べ人数）、実際の参加者数（延べ人数）は、次のとおりである。イベントの場合、参加者の人数は、そのイベントの効果を測定できる指標の1つであることから、イベントの実施前に予定参加者数を設定し、実績人数と比較することは、重要だと思われる。

予定参加者数の設定をしていなかったものは、「17 09 香川まちなめぐりてくてくさぬき」の1件だけであり、他については、予定参加者数を設定していた。

実績参加者数が予定参加者数を下回っているものは 11 件であり、屋外イベントの場合には、天候に大きく左右されるという事情もあるものの、その原因を検証し、改善する必要がある。

参加者数の把握については、参加者名簿があるものや、受付等を行うものは、正確に把握できるが、オープン参加の場合は、参加者数を把握することに労力を要することがあり、正確に把握することが難しい場合もある。一定時間ごとに定時観測を行って参加者数を推計しているものもあれば、25 年前の参加者数をベースに参加団体数の増加分を加算して参加者数を推計しているものもあり、一部に参加者数の把握に課題があるものがあつた。

予定参加者数と実績参加者数

(単位：人、%)

番号	イベントの名称	予定参加者数 ①	実績参加者数 ②	②/①
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪	30	22	73.3
2	水のフェスティバル in 府中湖	11,000	11,000	100.0
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	1,176	850	72.3
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	110	117	106.4
5	さぬき映画祭 2009	6,000	7,231	120.5
6	くらしの見守り隊研修会	1,100	880	80.0
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	250	167	66.8
8	平成 21 年度総合防災訓練	1,000	1,000	100.0
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭	250	260	104.0
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム	300	300	100.0
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	1,000	894	89.4
12	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）	10,000	8,099	81.0

13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト	140	216	154.3
14	第29回サンサン祭り	30,000	30,000	100.0
15	国外・国内 知的財産相談会	5	13	260.0
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会	50	53	106.0
17	09 香川まちなめぐりてくてくさぬぎ	設定なし	3,405,570	—
18	フラワーフェスティバルかがわ2010	50,000	50,000	100.0
19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト	80	74	92.5
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	10	8	80.0
21	住まいづくり講座	70	44	62.9
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	12,000	9,339	77.8
23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	8,000	8,932	111.7
24	防犯アカデミー2009	220	166	75.5

注) 予定参加者数及び実績参加者数は、イベント期間中の延べ人数である。

9 県職員への呼びかけ

イベントの開催の直前に参加者を集めるために、呼びかけをしたものが8件あり、そのうち、県職員に呼びかけたものが、次のとおり3件あった。

この3件については、人数割当はしていないが、任意に要請したものであった。

県職員に参加を呼びかけたもの

9	「かがわ 山の日」宣言記念 第54回香川県植樹祭
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー

10 広報の状況

イベントを実施する場合、無料の県の広告媒体や、関係市町・関係団体の広報誌等を積極的に利用し、効果的に広報を行う必要があり、その利用状況は、次のとおりである。(複数回答)

複数の広告媒体を組み合わせて広報しており、多い順に「県政記者室への資料提供」が22件、「県ホームページ」が20件、「ラジオ(こんにちは香川県です)」が11件、「関係市町の広報誌」が10件、「県広報誌」及び「関係団体の広報誌」がそれぞれ9件などであった。

県等の広告媒体の利用状況(複数回答)

県政記者室への資料提供	県ホームページ	ラジオ(こんにちは香川県です)	関係市町の広報誌	県広報誌(みんなの県政 THE かがわ)	関係団体の広報誌	コンビニ広報
22	20	11	10	9	9	4

県外向け情報紙(香川さぬぎ野)	立て看板	県インターネット放送局	テレビ(ホットかがわ、知っとく香川)	その他の県の広告媒体	計
2	2	1	1	2	93

広報のために作成したチラシ類、ポスター、刊行物等については、作成部数に対し保存用として必要な部数を除いて、過剰な残部を抱えているものはなかった。

チラシ類の制作を外部発注しているものについて、作成部数は、1,000部から220,000部であり、1枚当たりの作成単価は、大きさ、作成部数、デザイン料の影響を受けるが、2.9円から91.4円であった。

ポスターの制作を外部発注しているものについては、作成部数は、100部から3,208部であり、1枚当たりの作成単価は、大きさ、作成部数、デザイン料の影響を受けるが、15.0円から798.0円であった。

11 広報の効果

参加者がどの広報手段によって、イベントの情報を入手しているか把握できているものが6件、把握していないものが18件であり、把握の方法は、全てアンケート調査によるものであった。

「5 さぬき映画祭 2009」、「17 09 香川まぢめぐりてくてくさぬき」などの大規模で県外にも情報発信するイベントについては、参加者がどの広報手段でイベントの情報を入手したかを把握していた。

また、イベントの実施時にマスコミの取材を受けているものが20件、受けていないものが4件であった。

マスコミの取材を受けていないイベントは次のとおりであるが、マスコミの取材がないことは、そのイベントの魅力・情報発信力が欠けているという見方もできることから、検証してみる必要があると思われる。

マスコミの取材がなかったもの

7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー
16	高温高压流体技術研究所の成果発表・特別講演会
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー
21	住まいづくり講座

第6 事業効果の把握と活用

1 アンケート調査

イベントへの不満・改善要望や、イベントの満足度・必要度・理解度等を把握するため、参加者に対しアンケート調査を実施している状況は次のとおりであり、「アンケート調査を実施している」が13件、「アンケート調査を実施していない」が11件であった。

アンケート調査を実施していない理由としては、イベントの終了時点では、次年度に継続してイベントを実施するかどうか未定であったためとか、コンテスト等の場合は、参加者（応募者）に対するアンケート調査を行い難いなどがあった。

アンケート調査の実施状況

番号	イベントの名称	アンケート調査を実施している	アンケート調査を実施していない
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪	○	

2	水のフェスティバル in 府中湖		○
3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業	○	
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	○	
5	さぬき映画祭 2009	○	
6	くらしの見守り隊研修会		○
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	○	
8	平成 21 年度総合防災訓練	○	
9	「かがわ 山の日」宣言記念 第 54 回香川県植樹祭		○
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム		○
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等		○
12	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）	○	
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト		○
14	第 29 回サンサン祭り		○
15	国外・国内 知的財産相談会		○
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会		○
17	09 香川まちめぐりてくてくさぬき	○	
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	○	
19	第 9 回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト		○
20	第 8 回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	○	
21	住まいづくり講座	○	
22	第 20 回県民スポーツ・レクリエーション祭		○
23	第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	○	
24	防犯アカデミー2009	○	
計		13	11

アンケート調査の方法については、会場での回答が 10 件、後日、郵送での回答が 2 件、その他（大学による課題研究の一環）が 1 件であった。

アンケート調査の項目については、次のとおりであり、「意見要望等を自由に記載させるもの」が 13 件、「満足度」が 8 件、「必要度」及び「理解度」がそれぞれ 1 件であった。（複数回答）

意見要望等を自由に記載させる質問形式は、フリーアンサー、オープン質問などと呼ばれており、回答内容が多岐にわたると事前に予想される場合や、流行現象に関する調査のように事前に選択肢が作成できない場合に有効とされている。

ただ、質問する方は簡単でも、回答する方は労力を要する場合や、また、選択肢を設定して回答を補助することが適切な場合もあることから、アンケート調査を実施する際には、質問形式を検討する必要がある。

アンケート調査の項目（複数回答）

意見要望等を自由に記載	満足度	必要度	理解度	計
13	8	1	1	23

アンケート調査を実施した13件は、全て集計・分析を行い、そのうち12件については、次回のイベントに何らかの反映を行い、1件については、反映しようと検討したが、結果的に反映させることができなかった。

2 成果の活用

イベントの施策効果を上げるためには、イベントを実施した後、イベントを実施した様子、その内容について、積極的に県民に提供していくことが大切である。例えば、講演会を実施した場合には、講演の要約を広報誌、ホームページ等に掲載して事後広報を行うことが想定される。

監査対象の24イベントについては、事後に県民に対し成果を提供しているものが20件、事後に提供していないものが4件であった。

今後、事後に提供していないものについては、県民への提供を検討する必要がある。

3 イベントの効果

イベントを実施した際の効果については、次のとおり大きく6つに分類されている。

ダイレクト効果	イベント開催場面で発生する開催主体にとっての直接的な効果で、客の動員数、入場料収入、会場内売上げなどが挙げられる。 また、イベント会場などの場に触れた人々の意識、態度に与える効果も含まれる。
コミュニケーション効果	マスメディアなどによるパブリシティとイベントが連動して発生する効果で、イベントに参加した人々が抱く開催主体の知名、活動内容への理解、共感の醸成などの諸効果である。
波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的波及効果 イベントの参加者あるいはイベントに関する何らかの情報に触れた人々から直接的に、口コミで目的が伝わっていく効果である。 ・間接的波及効果 イベントの企画・開催への投資がもたらす経済効果、イベントの持つ新鮮な発想などによる新たな技術・文化の普及などの効果である。また、公共イベントの場合の社会への意識啓発効果なども該当する。
パブリシティ効果	イベントがマスコミなどで報道されることにより、開催主体の目撃意図が周知されるという効果である。
インセンティブ効果	開催主体を取り巻く関係団体等がイベントに招待（参加）されることなどによってもたらされる関係改善、関係促進の効果である。 イベントを実施する職員間のコミュニケーションがとれるなどの効果もある。
販促効果	購買意識の促進や、商品への好感度の醸成などの効果である。

上記のようなイベントを実施した際に得ることができる効果を検証するためには、あらかじめ、イベントの企画・計画の段階において、狙いとする効果の具体的な目標を設定し、事後に検証することが不可欠である。効果目標を具体的に設定することの効用の1つとして、設定した効果目標を達成するために、イベントの内容を戦略的に検討していくことに

つながっていくことが期待できる。また、効果目標が具体的に設定できるということは、イベントの目的、コンセプトが明確になっているということでもある。

4 効果測定としての目標数値

監査対象の 24 イベントについて、全てについて予め目標が定められていたが、具体的な目標数値があるものは、次のとおり 18 件であった。

目標数値については、上記の 6 つの効果全てについて設定し、効果を測定することは困難であることから、ダイレクト効果、波及効果について、目標数値を設定していた。

目標数値は、「新世紀基本構想 後期事業計画〈2005-2010〉」の基本指標と努力目標数値、法令等に基づく個別計画の目標数値を計上しているが、「1 ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪」は、任意に目標数値を設定していた。

目標数値を設定していない 6 件については、イベント効果は必ずしも数値だけで測定できるものではないが、一定の県費、県職員等の労力を投入している以上、目標数値を設定し、効果を測定することを検討すべきである。

イベントは、特定政策課題に基づき、施策の一環として実施される場合が多いことから、特定政策課題に係る目標数値を用いるなど、イベントを実施した効果を測定できるよう計量化に努める必要がある。

ただ、どうしても、目標数値の設定ができないものについては、参加者、関係者からアンケート調査を実施するなど、その調査結果を分析することによってイベント効果を把握できるよう努めなければならない。

目標数値の達成状況は、目標年度分の数値がまだ出ていない場合があるため、一律に比較できないが、平成 21 年度時点で、目標数値を（一部）達成していないものは、「1 ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪」、「4 美術ワークショップイン小豆島 2009」、「5 さぬき映画祭 2009」、「11 福祉・介護について考えるシンポジウム等」、「12 香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）」、「14 第 29 回サンサン祭り」、「17 09 香川まちめぐりてくてくさぬき」、「18 フラワーフェスティバルかがわ 2010」、「21 住まいづくり講座」、「22 第 20 回県民スポーツ・レクリエーション祭」、「24 防犯アカデミー2009」の 11 件であった。

目標数値と効果測定の結果

番号	イベントの名称	目標数値			目標数値の結果	
		年度	項目	数値	年度	数値
1	ふるさと回帰フェア 2009 in 大阪	21	ブース訪問者数	30 人	21	22 人
4	美術ワークショップイン小豆島 2009	24	芸術大学交流事業参加者数	180 人日	21	117 人日
5	さぬき映画祭 2009	21	映画の上映・ネットワーキング開催回数	60 回	21	94 回
		21	入場者数	6,000 人	21	7,231 人
		24	作品企画募集 応募者数	60 人	21	53 人
6	くらしの見守り隊研修会	22	消費生活相談件数	10,000 件	21	7,985 件

7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	22	消費生活相談員の助言等による自主交渉率	60 %	21	87 %
9	「かがわ 山の日」宣言記念第54回香川県植樹祭	22	県民の森づくり参加者数	5,000 人	21	6,156 人
10	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム	22	県民の森づくり参加者数	5,000 人	21	6,156 人
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	24	介護福祉士登録者数	9,000 人	21	7,895 人
12	香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）	24	80歳で20本以上残存歯数	30 %	20	25 %
		24	何でもかんで食べることができる人の割合	90 %	21	73 %
13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト	24	主食・主菜・副菜を揃えて食べるようにする人の増加	80 %	21	86 %
14	第29回サンサン祭り	23	ボランティア等養成数	1,565 人	21	1,417 人
16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会	22	イベントパーク内の研究機関で実施した共同研究件数	100 件	21	113 件
17	09香川まちなめぐりてくてくさぬき	22	県外観光客数	900 万人	21	872 万人
18	フラワーフェスティバルかがわ2010	22	花き栽培面積の増加	415 ha	20	350 ha
20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	22	グリーン・ツーリズムホーター登録数	100 人	21	565 人
21	住まいづくり講座	27	誘導居住面積水準の達成世帯率	75 %	20	67 %
22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭	22	参加者数	12,000 人	21	9,339 人
24	防犯アカデミー2009	22	警察とボランティアとの協働による防犯活動実施回数	470 回	21	509 回
		22	人口1,000人当たり刑法犯認知件数	全国ワースト24位以下	21	全国ワースト23位

注) 1つのイベントに複数の目標数値があるものは、一部省略しているものがある。

5 費用対効果

イベントを実施すれば、開催地域に経済的・社会的・文化的効果を及ぼすことになるが、最も数値で分析できるのは、経済的効果である。経済的効果は、経済波及効果を推計することで試算することができる。経済波及効果は、①直接効果、②第1次間接波及効果、③第2次間接波及効果の3つの段階に分けられている。

①直接効果は、i) イベント関連公共事業費等、ii) イベント施設建設・運営費、iii) イベント入場者消費の直接投資からなり、その投資額や消費額は、何らかの産業部門に対して支出され、その各産業分野に支出額に相当する生産額が誘発されるが、そのうち県内各産業部門での生産額のことである。

②第1次間接波及効果は、イベントの直接投資と直接消費が他の産業部門の生産に影響を及ぼしていくことであり、直接効果による中間需要を満たすために生産が行われるが、その生産を支えるための生産も新たに生じる。このように生産は、新たな需要となって他

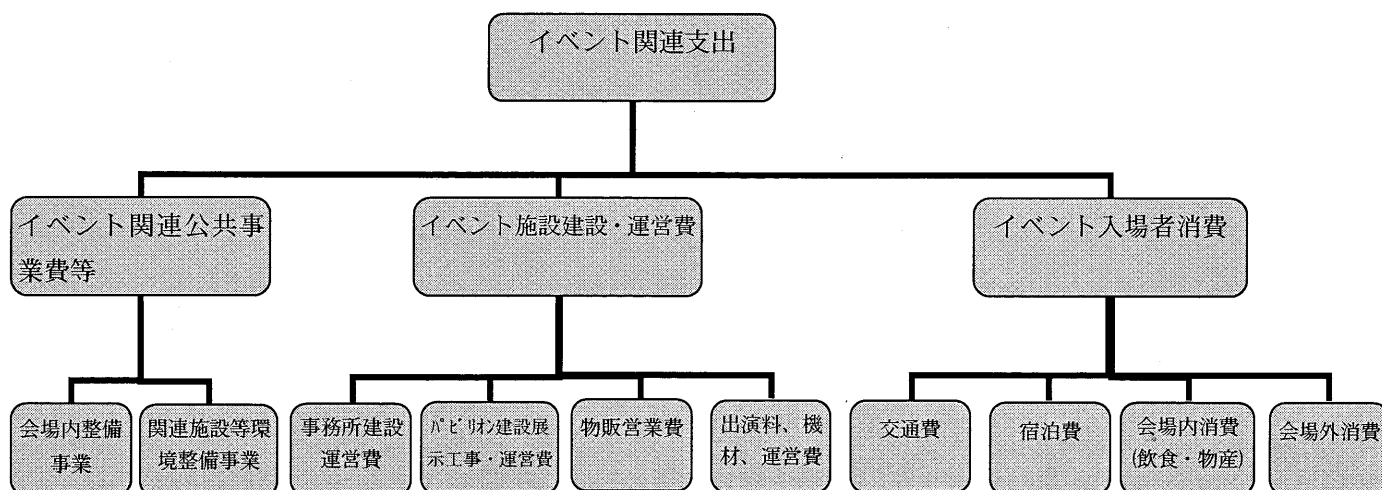
の産業部門の生産を誘発することになり、この繰り返しのよって生み出される生産額を合計したものである。

③第2次間接波及効果は、直接効果と第1次間接波及効果により誘発された生産活動を通じて発生した雇用者所得のうち一部は消費として支出されるが、この消費需要を満たすために必要となる新たな生産を誘発する効果のことである。

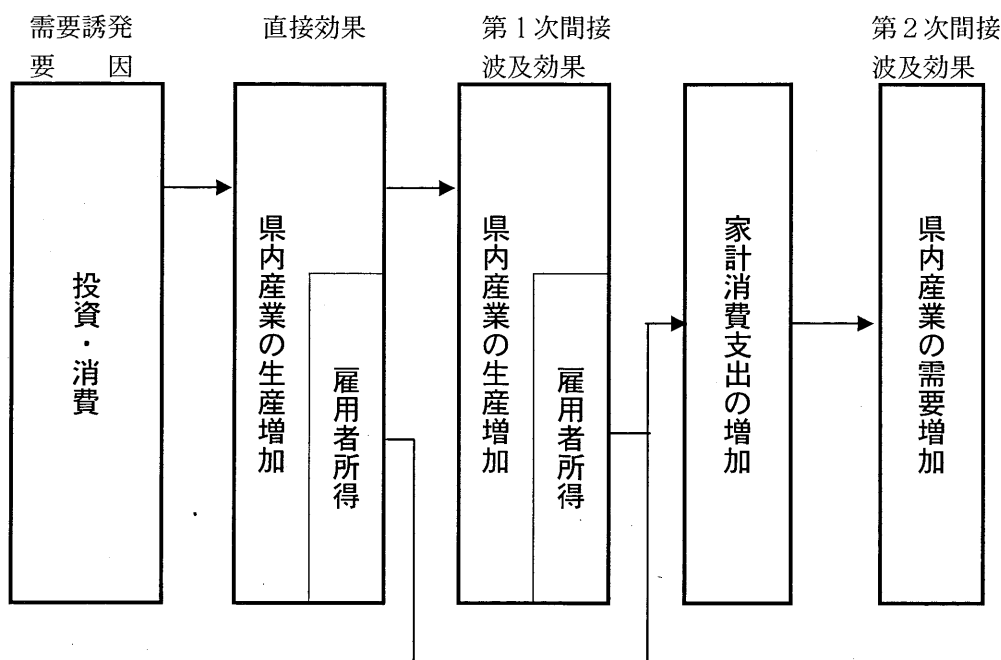
監査対象の24イベントのうち、経済波及効果の分析を行っていたのは、「23 第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」だけであり、経済波及効果を166,329千円と試算していた。その内訳は、参加者が宿泊費、飲食費などに支出した直接効果が98,498千円、直接効果によって県内各産業が製造やサービスを増やすことでもたらされた第1次間接波及効果が38,416千円、直接効果と第1次波及効果で雇用者所得が増え、新たな消費に向かうことでもたらされた第2次間接波及効果が29,415千円であった。

平成22年度に実施した瀬戸内国際芸術祭においても、地元にもたらした経済波及効果を約111億円と日本銀行高松支店が試算しているように、一定規模以上のイベントについては、費用対効果の分析の上からも、経済波及効果の推計を行うとともに、施策の推進や事業評価する際の有力な拠り所とすべきである。

直接経済効果の体系



～経済波及効果のイメージ～



6 記録

イベントの実施状況を記録することは、事後に成果を検証することや、次回のイベントを開催するときに、役に立つものであるから、必ず行わなければならない。

監査対象の 24 イベントについては、全てにおいて次のいくつかの方法を組み合わせることによって実施状況を記録していた。(複数回答)

「その他」は、学生ボランティアの感想文である。

実施状況の記録の方法 (複数回答)

文書	写真	映像	その他	計
22	21	3	1	47

イベントの実施状況を記録するだけでなく、次回のイベントを実施する際の改善点、注意点などを文書で記録しておくことは、有益なことである。

委託形式で実施しているものは、委託先から、委託事業を実施する上で工夫した点、問題を生じた点などを提出させ、イベントの実施結果を評価及び検証していたものもあった。(「3 かがわジュニア・オーケストラ育成事業」)

監査対象の 24 イベントのうち、次回の開催に向けて、改善点や注意点などを文書等で記録しているものは9件、記録していないものは15件であった。

改善点・注意点などを文書で記録

記録している	記録していない	計
9	15	24

実施結果の改善点、注意点などが文書等で記録されておれば、人事異動によりイベントの担当者が変わった際にも、イベントの準備が円滑に進むとともに、イベントの内容が改善されていくと思われるので、イベントの実施結果の改善点、注意点などを文章等で記録しておく必要がある。

第7 財務

1 企画競争（コンペ・プロポーザル方式）による委託

イベントを企画競争（コンペ・プロポーザル方式）により委託している場合がある。企画競争（コンペ・プロポーザル方式）は、県側において詳細かつ明確な仕様書等を作成することが困難なもので、契約の前段階において、企画提案書等を提出させるなどして、内容や業務遂行能力が最も優れた者又は一定の条件を満たすなどの複数の者を選定し、特定の者と契約を締結するものである。

また、企画競争（コンペ・プロポーザル方式）は、会計法令上の制度ではなく、便宜上運用されている制度で、随意契約の1つとされている。

企画競争（コンペ・プロポーザル方式）による場合は、特定の者を選定する過程が極めて重要であり、その選定過程について競争性、公平性、透明性を十分確保することが必要になり、次のことを可能な限り実施する必要があるとされている。

- ・ 広く参加者を募るための公募
- ・ 客観的かつ明確な審査基準の策定及び事前公表
- ・ 外部有識者を含めた複数の構成員からなる選定委員会による客観かつ公正な審査

監査対象の24 イベントのうち、企画競争（コンペ・プロポーザル方式）による委託契約を行っているものは、次の4件であった。

全てにおいて、公募を実施し、審査基準の策定・事前公表を行い、選定委員会による審査を行っていたが、選定委員会に外部有識者が入っているものは、2件であった。

「11 福祉・介護について考えるシンポジウム等」は、選定委員5名のうち3名が外部有識者（うち県庁OB 1名）、「17 09 香川まぢめぐりてくてくさぬき」は、選定委員6名のうち3名が外部有識者（うち県庁OB 1名）であった。

企画競争（コンペ・プロポーザル方式）により委託したもの

番号	イベントの名称	委託先	委託内容
6	くらしの見守り隊研修会	県婦人団体連絡協議会	くらしの見守り隊の運営
7	消費生活相談員養成のための基礎セミナー	県消費者団体連絡協議会	消費者教育・啓発活性化事業等の実施
11	福祉・介護について考えるシンポジウム等	(株)ネクサス	シンポジウム等の実施、広報、啓発キャンペーン、参加者の募集
17	09 香川まぢめぐりてくてくさぬき	西日本放送サービス(株)	「てくてくさぬき」の広報宣伝

2 実行委員会

イベントを実行委員会形式で実施し、かつ会計事務を実行委員会事務局で行っているもの（委託先が実行委員会形式で行っているもの含む。）が、次のとおり8件あり、そのう

ち、実行委員会事務局が県にあるものが4件、市町にあるものが3件、NPO法人にあるものが1件であった。

実行委員会事務局で会計事務を行うので、会計の基準や契約手続を明らかにした会計規程を定めておく必要がある。

「2 水のフェスティバル in 府中湖」、「4 美術ワークショップイン小豆島 2009」、「17 09 香川まちなめぐりてくてくさぬき」、「23 第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の4件については、実行委員会事務局において会計規程を定めていなかったが、事務局を置いている団体（県・市町）の会計規則を準用していた。今後、会計規程を定めて、会計の基準、契約手続を明確にしておく、又はそのように指導する必要がある。

実行委員会事務局を置いている団体及び会計規程等

番号	イベントの名称	実行委員会事務局			会計規程		会計基準		
		県	市町	NPO 法人	有	無	県会計規則に準じる	市町会計規則に準じる	正規の簿記の原則
2	水のフェスティバル in 府中湖		○			○		○	
4	美術ワークショップイン小豆島 2009		○			○		○	
5	さぬき映画祭 2009	○			○		○		
14	第 29 回サンサン祭り			○	○				○
17	09 香川まちなめぐりてくてくさぬき	○				○	○		
18	フラワーフェスティバルかがわ 2010	○			○				○
22	第 20 回県民スポーツ・レクリエーション祭	○			○		○		
23	第 64 回香川丸亀国際ハーフマラソン大会		○			○		○	

注) 会計規程は、会則等のなかで会計基準を規定している場合も含む。

実行委員会の事業予算書、事業計画書、事業決算書及び事業報告書は、総会等の審議に付され、適正に承認を受けていた。また、複数の監事の会計監査を受け、適正な旨の監査報告が行われていた。

実行委員会の解散時に、剰余金（残余財産）の帰属をどうするかについて、実行委員会会則に規定していたのは、「17 09 香川まちなめぐりてくてくさぬき」だけであった。剰余金（残余財産）は、平成 22 年 3 月の実行委員会解散時に、総会の承認を受け県に返納された。（返納額 5,265,765 円）

実行委員会の支出証拠書類を確認したところ、会計基準は、県・市町会計規則に準じているが、予定価格を設定する必要があるにも関わらず予定価格を設定していないもの、複数の者から見積書を徴していないもの、執行伺書に単独随意契約の理由が記載されていないもの、報償費で購入したお土産の配付先が不明であるものなど、県・市町会計規則が遵守されていないものが見受けられた。

実行委員会で執行する場合、純粋な県・市町費の執行でないこと、又は機動的に執行する必要のあることから、県・市町出納局（室）の会計審査を受ける必要がないため、県・

市町職員以外の複数の監事や、実効性ある監事担当役を選任するとともに事務局内部のチェック体制を十分確立しておく必要がある。

第8 危機管理

1 リスクの想定

イベントでは、屋外で実施するもの、体験型のもの、大勢の参加者が集うものなど、リスクが想定される形態のものがあることから、イベントの実施に伴うリスクを洗い出し、対策を講じることが必要になる。

監査対象の24イベントの状況は、次のとおりであり、「リスクの想定を行った」が19件、「リスクの想定を行ったが、想定されるリスクが無い」が3件、「リスクの想定を行っていない」が2件であった。

想定したリスクは、新型インフルエンザ対策、参加者の転倒、急病人の発生、火災、天候不順など多岐にわたっていた。

講座形式のイベントで、特に小規模のものについては、リスクを想定し難いものもあるが、県外講師の講演については、公共交通機関の遅延や不通による講師の遅れ、不着を想定していたものがあった。

リスクの想定

リスクの想定を行った	リスクの想定を行ったが、想定されるリスクが無い	リスクの想定を行っていない	計
19	3	2	24

リスクの想定を行った19件のうち、12件については、警察、消防、地元市町への緊急連絡先一覧の作成を含む危機管理の対応マニュアル（既存のものを含む。）を準備していたが、7件については、対応マニュアルまでは準備していなかった。

危機管理対応マニュアルの準備

危機管理対応マニュアルを準備していた	危機管理対応マニュアルを準備していなかった	計
12	7	19

また、想定したリスクにもよるが、救護室又は救急医薬品セットを準備していたものは、15件、準備していなかったものが9件であった。屋外での活動があるものなど、イベントの内容を踏まえて、適宜、救護室又は救急医薬品セットを準備する必要がある。

2 イベント保険、ボランティア保険の加入

イベントの内容、規模によっては、参加者、ボランティアに対しての傷害及び疾病補償に対応するため傷害保険に加入する必要がある。また、主催者が行事主催中の偶然な事故により他人に怪我を負わせたり、他人の財物を破損させたことにより、主催者が法律上の賠償責任に問われるおそれがあり、それに備えるために賠償責任保険に加入する必要がある。

監査対象の24イベントのうち、傷害保険のみ加入していたものが7件、損害賠償保険

のみ加入していたものが1件、傷害保険と損害賠償保険の両方に加入していたものが4件、どちらも加入していなかったものが11件、不明なものが1件であった。

どちらも加入していない11件の中には、ボランティアが活動しているもの、応募者が調理の実演を行うもの、その他イベントの内容、規模から傷害保険又は賠償責任保険に加入した方が望ましいものがあるので、今後、検討する必要がある。

保険の加入状況

傷害保険のみ加入	損害賠償保険のみ加入	傷害保険・損害賠償保険の両方に加入	どちらも加入していない	不明	計
7	1	4	11	1	24

第9 環境への配慮（エコイベントマニュアル）

1 対象

県では、平成18年度に「第3次かがわエコオフィス計画」を策定した際、イベントなどの開催について、開催目的、趣旨を損なわない範囲内で、環境への負荷をできる限り低減し、さらには、環境負荷低減の取組みをイベントなどでアピールすることによって参加者等が環境について考え、環境を良くしていこうという行動を起こすきっかけにするため、「かがわエコイベントマニュアル」を作成している。

この「かがわエコイベントマニュアル」が対象としているイベントは、県が主催・共催し又は県が主体となった実行委員会が開催する式典、催し、展示会、講演会、研修会、記念行事等で、実施に当たって県が主体的に関わるものである。

また、県が後援するイベントについても、県が関与できる程度に応じて、主催者に協力を要請することになっている。

2 運用方針

「かがわエコイベントマニュアル」では、イベントの主催者は、開催を外部に委託する場合には、企画書の提出や委託契約の締結の際に「かがわエコイベントマニュアルを踏まえ環境に配慮したイベントになるよう努める」等の文言を仕様書、契約書において明記することになっている。

イベントの開催（企画・運営）を外部に委託しているものについて、「かがわエコイベントマニュアルを踏まえ環境に配慮したイベントになるよう努める」等の文言を仕様書、契約書において明記しているものは、なかったため、今後、明記する必要がある。

参加者が概ね1,000人以上であったと見込まれる場合（講演会、研修会等の環境負荷が比較的少ないものを除く。）は、環境配慮の実施状況を「エコイベント実施状況報告書」に記載の上、イベント終了後2週間以内に県環境政策課に報告することになっている。

しかしながら、「エコイベント実施状況報告書」を提出していないもの、提出が著しく遅延（半年以上）しているものがあった。

イベントの実施担当課は、イベント終了後2週間以内に「エコイベント実施状況報告書」を提出するとともに、県環境政策課においても、適切に指導を行う必要がある。

第10 監査の結果及び意見

県内では、さぬき映画祭、高松国際ピアノコンクール、香川丸亀国際ハーフマラソン大会、瀬戸内国際芸術祭など、全国的にも特色のあるイベントが開催されている。

特に、平成22年7月から10月末までの105日間にわたり開催された瀬戸内国際芸術祭は、総来場者数（島ごとの来場者の延べ数）が93万8千人と事前予想を大きく上回るなど、盛況のうちに閉幕し、3年後の平成25年開催も決定したところであり、地元住民や民間事業者をはじめ多くの方々から、香川県や瀬戸内海の島々の活性化、知名度向上、イメージアップに期待が寄せられている。また、瀬戸内国際芸術祭の効果を県下全域に広げる取組みを行うことにより、県内各観光地の誘客につなげることも求められているところである。

香川県では、このような全国的・国際的なイベントだけでなく、特定の行政目的を達成するために、県民を対象として知識・意識を普及したり、連携を深めたり、利用・販売を促進しようとする行事、催し、講演会等のイベントが、単独、共催、実行委員会形式、委託など、様々な形態をとりながら実施されている。

イベントを実施することは特定の行政目的達成のための手段であるが、継続的に実施しているうちに、イベントを行うこと自体が目的化していないか、絶えず検証していかなければならない。

また、アンケート調査を実施し、その結果を分析し、イベントの内容を絶えず見直すことが必要である。

本監査は、多種多様なイベントを多角的に監査し、今後、イベントが効果的、経済的、有効に開催されるよう実施したものであり、以下の監査の結果及び意見を参考として、適正な事務の執行を期待するものである。

1 総括意見

(1) 終期・見直し時期の設定

イベントを新たに創設する段階だけでなく、既に継続して実施しているイベントについても、サンセット方式（終期の設定）又は見直し時期を設定することにより、その時点でイベントの目的、実施する必要性を改めて見直し、今後、継続するかどうかについて検討する必要がある。

法令、条例に基づき個別計画に掲載されているイベントはあるが、個別計画の計画期間終了後、イベントが継続されるのかどうか明確になっていないこと、事業効果の把握及び経済波及効果の分析など費用対効果の分析が必ずしも十分に行われている状況にはない。このため、イベントを創設する段階だけでなく、既に継続して実施しているイベントについても、終期を定めるか又は見直し時期、例えば3年経過後、常に見直し検討を行うといった3年ルールを定めておき、その時点でイベントの目的、実施する必要性を改めて見直すことを検討する必要がある。

(2) 人件費を含めた総事業費の算出

イベントの実施には、県職員等の人件費がかかっており、イベントの費用対効果を考える上でも、県職員等の人件費を含めた総事業費を把握・認識する必要がある。

監査対象の24イベントにおいて、県職員等の人件費を把握していたものは皆無であった。担当課から報告のあったイベントの準備期間及び実施期間の人日から県職員等の人件費を推計し、イベントの事業費に加えると、24イベントの事業費が48,997千円（約24%）増加することが判明した。イベントの費用対効果を考える上でも、約24%の費用が増加することを参考にして、県職員等の人件費を含めた総事業費を把握・認識する必要がある。

(3) 効果の把握

一定規模以上のイベントについては、費用対効果の分析の上からも、経済波及効果の推計を行うとともに、経済波及効果を施策の推進や事業評価を行う際の有力な拠り所とすることを検討する必要がある。

監査対象のイベントのなかで、経済波及効果を推計していたものは、「第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」だけであった。

イベントの実施にともない、交通・宿泊、飲食及び物産購入などの消費行動も見込まれることから、一定規模以上のイベントについては、費用対効果の分析の上からも、県統計調査課の協力を得ながら経済波及効果の推計を行うとともに、経済波及効果を施策の推進や事業評価を行う際の有力な拠り所とすることを検討する必要がある。

(4) 実行委員会の会計手続の確立

イベントを実行委員会形式で実施し、県に事務局を置く実行委員会で会計事務を行うものについては、独自の会計規程を設けるか、県の会計規程に準拠することを明文化することにより、会計基準や契約手続を明確にしておく必要がある。

また、実行委員会で備品を購入したり、郵便切手類を保管している場合があるので、台帳・受払簿を作成し適正に管理する必要がある。

実行委員会で会計事務を行っているものについては、純粋な県費でないこと、又は機動的に執行する必要があることから、出納局の会計審査を受ける必要がない。

このため、実行委員会においては、会計の基準や、入札手続、履行確認といった契約手続等を明らかにした会計規程を定め、会計規程に従って事務を行うことや、県の会計規則等を準用している場合には、その旨を明らかにしておく必要がある。

また、県職員以外で複数の監事や、実効性のある監事担当役を選任するとともに、実行委員会事務局のチェック体制を十分確立しておく必要がある。

2 共通監査事項（改善・検討事項）

(1) イベントの計画等

類似イベントを把握していないものがあるので、今後、類似イベントを把握し、調整が必要なものについては、所要の調整を行う必要がある。

番号	19
----	----

県庁内外で、類似イベントを実施していないか調べ、目的、趣旨、対象者等が同じであれば、調整を行う必要がある。

類似イベントの調整には、同時開催、統合、どちらかの中止、開催時期の変更及び内容の変更など考えられるが、所要の調整を行い、二重投資にならないようにする必要がある。

(2) イベントの実施等

ア 参加者に対し、無償で物品等を提供しているもののなかに、参加者が自己負担することが望ましいものがないか検証しておく必要がある。

番号	2、7、9、11、12、17、18、22、23、24
----	----------------------------

イベントの効用を高めるために、参加者に対し、無償で物品を提供しているもの、無償での試食・試飲の提供など、無償でサービスを提供しているものがあるが、本来、参加者が自己負担することが望ましいものがないか検証しておく必要がある。

イ イベントの予定参加者数を想定していないものについては、参加者数を想定し、イベントの効果等を検証する必要がある。

また、予定参加者数より実績参加者数が少ないもの及び過去から参加者数が逡減傾向にあるものについて、その原因を把握し、イベントの内容を適宜、見直す必要がある。

番号	1、3、6、7、11、12、17、19、20、21、22、24
----	---------------------------------

予定参加者数を想定していないものについては、参加者数を想定し、実績参加者数と比較し、イベントの効果等を検証する必要がある。

予算額の減少により規模等を縮小しているものがあることや、屋外イベントについては、天候等の影響を受けることがあり、一律には比較できないものの、予定参加者数より実績参加者数が少ないもの、又は過去から参加者数が逡減傾向にあるものについては、その原因を把握し、イベントの内容を適宜、見直す必要がある。

ウ イベントの参加者数の把握について、今後、工夫する必要がある。

番号	14
----	----

参加者数の把握は、参加者名簿があるものや、受付等を行うものについては、正確に把握できるが、オープン参加の場合は、参加者数の把握に労力を要することがある。オープン参加の場合は、一定時間ごとに定時観測を行って参加者数を推計しているものから、25年前の実績をベースに増加分を加算して参加者数を推計しているものである。

イベントの効果測定は、様々な手法があるが、参加者数は重要な測定指標であるので、よりの確に参加者数の把握ができるよう、工夫する必要がある。

エ 参加者がどの広報手段によって、イベントの情報を入手しているか把握していないものがあるので、今後、効果的な広報を行う上で、把握することが望ましい。

番号	2、4、6、9、10、11、12、13、14、15、16、20、22、23、24
----	--

特にイベントが大規模なもの、県外向けにも情報発信する必要があるものについては、有料、無料の様々な広告媒体を使用して広報を行う場合がある。その場合、参加者がどの広告媒体からイベントの情報を入手しているかを把握することは、今後、効果的な広報を行う上で必要である。

(3) 事業効果の把握と活用

ア 継続して実施しているイベントのなかで、参加者に対しアンケート調査を実施していないものがあるので、実施を検討する必要がある。

また、アンケート調査を実施しているものについて、アンケート調査の設問を工夫する必要がある。

番号	2、6、9、10、11、14、22
----	-------------------

アンケート調査は、参加者の満足度、必要度、理解度及び意見要望を把握する効果的な手法であるので、アンケート調査が可能なものについては、実施を検討する必要がある。

また、アンケート調査の設問は、意見要望等を自由に記載させる質問形式と事前に選択肢を設定して回答を補助する質問形式を比較検討し、より参加者の意向が汲み取れるよう工夫する必要がある。

イ イベントの成果を、事後に県民に提供していないものがあるので、今後、検討する必要がある。

番 号	1、8、11、21
-----	-----------

イベントの成果は、参加者だけではなく、広く県民に還元する必要がある。

イベントを実施した様子、その内容について、積極的に県民に提供していくことが大切であり、例えば、講演会を実施した場合には、講演の要約を広報誌、ホームページ等に掲載して事後広報していくことなどが考えられる。

ウ イベントの企画・準備段階で、施策効果としての目標数値（件数、人数、率など）を設定しておき、実績数値と比較し、効果を検証しておく必要がある。

番 号	2、3、8、15、19、23
-----	----------------

イベントの目的、コンセプトを明確にする上で、企画・準備段階で目標数値を設定し、実績数値と比較することでイベントの実施効果を検証する必要がある。

また、イベントを実施するためには、一定の県費、県職員のマンパワーを投入しており、事業評価を行うためにも目標数値を設定しておく必要がある。

ただ、どうしても目標数値の設定になじまないものについては、参加者、関係者等にアンケート調査を実施し、その結果を分析することで効果を把握しておくことに努めなければならない。

エ イベントの実施結果について、次回開催に向けた、改善点、注意点などを文書等で記録しておく必要がある。

番 号	2、4、5、6、8、9、10、11、12、14、15、16 19、23、24
-----	---

イベントの実施結果について、次回の開催に向けての改善点、注意点などを文書等で記録しておくことは、人事異動等で担当者が変わった際にも、イベントの運営等が円滑に進むとともに、イベントの内容を改善していく上でも重要である。

(4) 財務

実行委員会事務局で会計事務を行うものについて、独自の会計規程を設けるか、「県又は市町の会計規程に準じる」ことを明文化することにより、会計基準や契約手続を明確にしておく必要がある。

また、市町に事務局がある実行委員会が、市町会計規則等に準じている場合には、市町会計規則等に準じて適正に会計事務が行われるよう、補助金等を負担している県としても、指導・助言する必要がある。（一部再掲）

番 号	2、4、17、23
-----	-----------

実行委員会で会計事務を行っているものについては、会計の基準や契約手続等を明らかにした会計規程を定め、会計規程に従って事務を行う必要がある。県・市町の会計規則等を準用している場合においても、その旨を明らかにしておく必要がある。

また、実行委員会で会計事務を行う場合には、県・市町の出納局（室）の会計審査を受ける必要がないので、実行委員会事務局のチェック体制を十分確立しておく必要がある。

(5) 危機管理

イベントの実施において、傷害保険及び損害責任保険に加入しておくことが望ましいにもかかわらず、加入していないものがあつたので、今後、加入について検討する必要がある。

番 号	5、8、13、18
-----	-----------

イベントの内容、規模によっては、参加者、ボランティアの傷害及び急病への対応や、主催者が偶然の事故により他人に怪我を負わせたり、他人の財物を破損させたことにより、法律上の賠償責任を負うことが想定される。

危機管理の上から、傷害保険及び損害賠償責任保険に加入しておくことが望ましいものについては、保険の加入について検討する必要がある。

(6) 環境への配慮（エコイベントマニュアル）

ア イベントの開催（企画・運営）を外部に委託しているものについて、「かがわエコイベントマニュアルを踏まえ環境に配慮したイベントになるよう努める」等の文言を仕様書、契約書において明記する必要がある。

番 号	3、4、6、7、11、12、
-----	----------------

かがわエコイベントマニュアルでは、県が主体的に関わるイベントの開催（企画・運営）を外部に委託する場合には、企画書の提出や委託契約の際に「かがわエコイベントマニュアルを踏まえ環境に配慮したイベントになるよう努める」等の文言を仕様書、契約書に明記することになっているが、記載されていないものがあつた。

イ 「かがわエコイベントマニュアル」に基づき、「エコイベント実施状況報告書」を提出していないものがあるので、提出する必要がある。

番 号	12
-----	----

また、「エコイベント実施状況報告書」の提出が著しく遅延しているものがあるので、提出期限内に提出する必要がある。

番 号	5、23
-----	------

県環境政策課は、「かがわエコイベントマニュアル」に基づき、「エコイベント実施状況報告書」を提出させる必要があるものについては、提出期限を守るよう周知徹底を図る必要がある。

県では、イベントなどの開催について、開催目的、趣旨を損なわない範囲内で、環境への負荷をできる限り低減し、さらには、環境負荷低減の取組みをイベントなどでアピールすることによって参加者等が環境について考え、環境を良くしていこうという行動を起こすきっかけにするために、平成 18 年度にエコイベントマニュアルを作成している。

このエコイベントマニュアルでは、講演会等の環境負荷が比較的少ないものを除き、参加者が概ね 1,000 人以上のものについて、環境配慮の実施状況を記載した「エコイベント実施状況報告書」を、イベント終了後 2 週間以内に提出することになっているが、提出していないものや提出が著しく（半年以上）遅延しているものがあつた。

3 個別監査事項（改善・検討事項）

(1) かがわジュニア・オーケストラ育成事業

団員が退団、休団した場合は、受講料を免除することになっており、退団届、休団届を徴し、後日、受講料の金額を検証できるようにする必要がある。

団員の受講料については、年間を半期に分けて、4月と10月に徴収することになっている。団員が退団、休団する場合は、その月数を免ずることになっているが、退団届、休団届を徴していないので、退団、休団した時期を確認することができない。

(2) 美術ワークショップイン小豆島 2009

委託料のなかに、講師の県内文化施設視察に係る経費が含まれているが、事業との関連性や必要性について検証する必要がある。

県から美術ワークショップイン小豆島実行委員会（構成団体：小豆島町、土庄町等）に委託し、講師に東京芸術大学の教授などを招へいして、公募した小・中・高校生を対象に美術ワークショップを実施している。

委託料のなかに、講師の県内文化施設視察に係る経費などが含まれており、当該委託事業との関連を検証する必要がある。

(3) さぬき映画祭 2009

ア さぬき映画祭優秀企画映像作品の貸出等要領を改正し、標準的な貸出期間を定める必要がある。

県及びさぬき映画祭実行委員会が上映権を有しているさぬき映画祭優秀企画映像作品を貸出等要領に基づき貸し出しているが、標準的な貸出期間を定めていないた

め、貸出期間が長期（5月以上）にわたっているものがあり、なかには、作品を紛失しているものがあった。

イ さぬき映画祭優秀企画映像作品の貸出日、返却日の記載及び処理者印の押印が漏れているものが多数あったので、適切に事務を行う必要がある。

さぬき映画祭優秀企画映像作品の貸出を希望する者は、貸出申込書を提出する必要があり、文化振興課において、当該貸出申込書に提出日、返却日とそれぞれ処理者印を押印するようになっているが、記載等が漏れているものが多数あった。

ウ 平成18年度にさぬき映画祭実行委員会でパンフレットスタンド（備品）を購入しているが、県への譲渡を適切に行う必要がある。

平成18年度にさぬき映画祭実行委員会でパンフレットスタンド（購入金額93,450円）を購入しており、さぬき映画祭関係以外のパンフレットも入れている。

さぬき映画祭実行委員会の組織については見直しがなされ、平成22年度以降は調査審議機関となり、財産を保有しない扱いとなっているが、県への譲渡手続が行われていなかった。

エ シネマキャラバン映画上映業務の委託完了後、10日以内に検査調書を作成する必要がある。

実行委員会の収入及び支出手続については、県の会計規則に準拠することとしている。

県会計規則においては、契約を締結後、契約の適正な履行を確保するため、又はその受ける給付の完了を確保するために必要な検査をすることとされている。この検査は、契約の相手方から業務完了後、遅滞なく成果報告書を提出させ、受理後10日以内に行わなければならないものとされている。

シネマキャラバン映画上映業務を委託しているが、委託業務の完了後、10日以内に職員2名による検査を実施したことを証する検査調書を作成していなかった。

オ さぬき映画祭2009商店街関連イベントマーブリングリフレクション運営業務を委託しているが、単独随意契約の理由を執行伺書に記載していないので、記載する必要がある。

随意契約は、契約の性質又は目的上競争に付することが不相当であり、又は不利益であると認められた場合等、競争に付さず、任意に契約の履行に相当と認められる特定の相手方を選択して契約を結ぶ方法である。

さぬき映画祭2009商店街関連イベントマーブリングリフレクション（日本古来の墨流しの技法を活用し、水面上に描かれる模様を写し取るもの）運営業務委託について単独随意契約をしており、県の会計規則に準じれば、単独随意契約の理由の記載が必要になるが、執行伺書に記載されていなかった。

(4) 「かがわ山の日」宣言記念第 54 回香川県植樹祭

ア 参加者に配る記念品として香川県産ヒノキペン立てを購入しているが、参加者数を超える数量を購入していたので、今後、適正に執行する必要がある。

参加者に対し記念品として香川県産ヒノキペン立て（@955.5 円×500 セット）を購入しているが、参加者は 260 人であり、執行何書の購入理由からは過大な購入数量となっている。残部については、関連事業で使用しているようであるが、購入目的と購入数量の整合性がとれていなかった。

平成 22 年度に購入した香川県産ヒノキマウスパッド、メモホルダー付ペンスタンドについても、同様であった。

イ 植樹祭植栽補助業務を委託しているが、1 年以内の枯れ補償等について確認調書を作成する必要がある。

植樹祭植栽補助業務を委託しており、植栽樹木等の^{かし}瑕疵担保期間は 1 年間としている。瑕疵担保の内容は、苗木及び植付け、養生の^{かし}瑕疵により、1 年以内に枯死又は^{かし}形姿不良となった場合には、当初植栽した樹木等と同等又は、それ以上の規格のものに受託者の負担において植替えなければならないとされている。

このため、受託者と 1 年以内の枯れ補償等の確認を行う必要があるが、確認調書を作成していなかった。

(5) 「かがわ山の日」宣言記念シンポジウム

一般県民向けに作成する参加者募集用にチラシを作成しているのであれば、募集人員、申込手続及び応募多数の場合の選考方法を記載する必要がある。

一般県民を対象にしているシンポジウムの場合、チラシの記載内容には、募集人員、申込手続及び応募多数の場合の選考方法（先着順、抽選など）を記載する必要があるが、チラシに募集人員、申込手続及び応募多数の場合の選考方法を記載していなかった。

(6) 香川県 8020 運動推進業務（口腔保健啓発業務）

経費の支出について、専務理事及び会計担当理事の決裁をとっていなかったため、規則に基づき決裁をとる必要がある。

県歯科医師会の財産の管理及び会計規則では、経費の支出について、専務理事及び会計担当理事の決裁をとることになっているが、決裁をとっていなかった。

(7) 09 香川まちなみめぐりてくてくさぬき

ア 県会計規則等を準用しているため、予定価格を設定する必要があるものについて、予定価格調書を作成する必要がある。

09 香川まちめぐりてくてくさぬき実行委員会は、会計規程は定められていないものの、県会計規則等を準用しているが、予定価格を設定する必要があるものについて、予定価格調書を作成していないものがあった。

イ 委託業務の企画競争（コンペ方式）を行う際の、審査手続を検討する必要がある。

広告・広報業務を企画競争（コンペ方式）により委託しており、審査委員による審査を行い、選定する計画であったが、結果として事実上、事務局において選定していたので、審査手続を検討する必要がある。

ウ てくてくカード制作運営業務を委託し、成果報告書を作成しているが、カードの利用率が低調であった原因を把握するとともに、そこから得られた成果が、県観光の動向を把握する資料としてどのように活用されているのか、検証する必要がある。

観光客に県内を回遊させるための仕掛けと、県観光の動向を把握する資料を作成するため、てくてくカードの端末機器、プログラム制作業務及び運営、データ集計分析業務を 5,686 千円で委託している。

てくてくカード等の準備枚数 2,250 枚のうちカード販売・配付枚数は 2,086 枚であり、そのうち、カード実利用枚数は 939 枚（利用率 45%）にとどまっており、利用率が低調であった原因を把握するとともに、そこから得られた成果の活用状況について検証する必要がある。

(8) 第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

新たな応募者を増やすとともに、若年層からの応募が増えるよう、広報の方法等を検討する必要がある。

過去5年間の応募者数は70人前後で推移しており、平成21年度の応募人数74人のうち32人が過去の入賞経験者であり、特定の者が応募している傾向にあることや、応募者の平均年齢が61.7歳であり、若年層の応募が少ないものになっている。

(9) 第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー

グリーン・ツーリズムサポーターの登録数が、既に新世紀基本構想の努力目標数値の5倍以上となっていることや、登録者が体験ツアーに再度参加している状況にあることから、今後、事業の進め方を工夫する必要がある。

新世紀基本構想後期事業計画の努力目標数値では、平成22年度のグリーン・ツーリズムサポーター登録数を100人としているが、既に565人の登録があり、目標数値の5倍以上になっており、グリーン・ツーリズムサポーター登録数の確保という点では、一定の成果をあげている。

一方、過去4年間の推移を見ると、既にグリーン・ツーリズムサポーターに登録している者が当該体験ツアーに参加している割合は、8%から60%までとなっており、都

市住民へのグリーン・ツーリズムのPRという、当該事業の施策目的が十二分に実現しているとは、言いがたい状況にある。今後、事業の進め方を工夫する必要がある。

(10) 第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会

ア 丸亀市会計規則等を準用しているので、予定価格を設定しなければならないものについて、予定価格調書を作成する必要がある。

香川丸亀国際ハーフマラソン組織委員会（構成団体：県、丸亀市、香川県陸上競技協会等）には、会計規程は定められていないものの、丸亀市会計規則等を準用しているが、予定価格を設定する必要があるものについて、予定価格調書を作成していないものがあつた。

イ 委託業務のうち再委託されているものについて、個人情報の取扱いが明確になっていないもの、又は書面による再委託の承諾が行えていないものがあつたので、改善する必要がある。

記録計測等の業務を委託しており、その委託した業務のうち参加者の宛名シールを作成する業務については、受託者から別の業者に再委託している。

宛名シール（名前、住所）等の個人情報を扱うようになるが、契約上、委託先での個人情報取扱い規定は定めているが、再委託先での個人情報の取扱いが明確でない。

また、契約上、組織委員会が再委託を承認する場合は、書面で承諾することになっているが、行っていなかった。

ウ 参加団体、招待選手へのお土産を購入しているが、配付先一覧を作成していないものがあつたので、今後、作成しておく必要がある。

報償費で参加団体、招待選手へのお土産を購入しているが、配付先一覧がないため誰に渡したのか不明なものがあつたので、明確にしておく必要がある。

事前調査に基づくイベント一覧

別添 資料1

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
1	ふるさと回帰フェア2009 in大阪	H21.9.12	1	梅田スカイビル ----- 大阪市	4 5 (相談コーナー)	移住希望者に対する 相談・PR	4 (ブース出展)		181,140	181,140	委託 香川県部分は 直営	30	5,200 (22) ※()は香 川ブース訪 問者数	8,234	H19	○	政策課
2	ふるさと回帰フェア2009 in東京	H21.9.23	1	早稲田大学 ----- 新宿区	4 5 (相談コーナー)	移住希望者に対する 相談・PR	4 (ブース出展)		不明	196,940	委託 香川県部分は 直営	—	32,480 (62) ※()は香 川ブース訪 問者数	3,176	H18	○	政策課
3	もうひとつのふるさと探し フェアin大阪	H21.10.17	1	梅田スカイビル ----- 大阪市	2 4 5(相談コーナー)	移住希望者に対する 相談・PR	3	「もうひとつのふるさと探しフェア in大阪」実行委員会 北海道・鳥取県・島根県・山口 県・「とくしま」ふるさと回帰推進 協議会・香川県・えひめ移住交 流推進協議会・高知県・NPO法 人住んでみたい北海道推進会 議	12,666,230	329,120	委託 香川県部分は 直営	—	1,700 (143) ※()は香 川ブース訪 問者数	2,302	H20	○	政策課
4	海外ロングステイ・国内 デュアルライフフェア2009	H21.11.7	1	東京ビッグサイト ----- 江東区	2 4 5 (相談コーナー)	移住希望者に対する 相談・PR	4 (ブース出展)		不明	242,700	委託 香川県部分は 直営	—	8,276 (160) ※()は香 川ブース訪 問者数	1,517	H20	○	政策課
5	水のフェスティバルin府中 湖	H21.10.3 H21.10.4	2	府中湖 ----- (坂出市)	1	水の歴史や水の大切さ・有効利用など について普及啓蒙	3	府中湖フェスティバル実行委員 会 (香川県) (坂出市) (坂出市府中連合自治会ほか 地元諸団体)	7,004,340	2,000,000	委託 (一部の運営 業務、警備業 務等)	11,000	11,000	182	H11	○	水資源対 策課
6	瀬戸大橋スプリングイベ ント2009	H21.4.4 ~ H21.4.29	9	与島プラザ ----- (坂出市)	1	瀬戸大橋の利用促 進及び与島の活 性化	3	瀬戸大橋利用促進共同実行委員 会 (香川県瀬戸大橋利用 促進実行委員会 岡山県 本州四国連絡高速道 路 株)	3,009,410	1,500,000	委託 (司会・船舶運行等)	—	—	—	H15	○	交通政策 課
	瀬戸大橋オータムイベ ント2009	H21.10.4 ~ H21.11.1	9	同上					同上								
7	高松空港「空の日」イベント	H21.9.6	1	高松空港 ----- (高松市)	1	航空に対する理解、 関心を高める	3	高松空港「空の日」記念実行委 員会	2,259,683	678,335	委託 (一部企画・運営業務)	4,000	5,000	136	H4	○	交通政策 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
8	高松空港20周年記念旅 フェスタ	H21.10.9 H21.11.2 H21.11.3	3	丸亀町商店街 ----- (高松市)	1	開港20周年を記 念。旅行商品の紹 介等を行い、航空活 動の利用促進を図 る。	2 3	高松空港振興期成会 共催団体 高松丸亀町商店街振興組合 高松丸亀町まちづくり株式会社	601,680	421,176	委託 (全部)	2,000	2,000	211	H21	×	交通政策 課
9	高松空港20周年記念行事	H21.12.19 H21.12.20	2	高松空港 ----- (高松市)	1 4 (表彰式あり)	開港20周年を記 念。航空活動の利 用促進を図る。	2 3	高松空港振興期成会 共催団体 高松空港ビル	5,932,765	1,159,736	委託 (整備、設營業務)	4,000	5,000	232	H21	×	交通政策 課
10	県民ホール文化事業 かがわジュニア・オーケス トラ育成事業	レッスン練 習等:通年 ----- 定期演奏会: 21.8.30	1 1	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	3	文化芸術を担う人 材の育成	1	(委託先) 穴吹エンタープライズグループ	7,541,255	7,541,255	委託 (全部)	定期演奏 会 1,176	団員数145 定期演奏会 850	52,009	H13	○	文化振興 課
11	小豆島AIR2009/spring 第1回小豆島芸術家村滞 在作家展	H21.6.26 ~ 7.5	1	小豆島三都半島 ----- (小豆島町)	4	文化芸術を活用し た地域の活性化	3	小豆島芸術家村実行委員会 (香川県、土庄町、小豆島町)	1,490,285	1,175,000	委託 (全部)	-	-	-	H20	○	文化振興 課
12	芸術大学交流事業 美術ワークショップイン小 豆島2009	H21.7.25 ~ 7.26	1	サンオーブ・オ リーブ記念館 ----- (小豆島町)	3	文化芸術を担う人 材の育成	1	(委託先) 美術ワークショップイン小豆島 実行委員会 (土庄町、小豆島町他)	3,455,390	3,455,255	委託 (全部)	110	117	29,532	H13	○	文化振興 課
13	県民ホール文化事業 かがわ音楽講座	H21.7.4 ~ 7.20	4	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	3	文化芸術を担う人 材の育成	1		3,194,874	3,194,874	委託 (全部)	-	-	-	H13	○	文化振興 課
14	県民ホール文化事業 香川県文化芸術新人賞受 賞記念コンサート	H21.11.6	1	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	5 (舞台公演)	文化芸術を担う人 材の育成	1		3,728,143	297,867	委託 (全部)	807	807	369	H21	○	文化振興 課
15	県民ホール文化事業 かがわ郷土芸能フェスタ 2009	H21.11.8	1	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	5 (舞台公演)	郷土芸能公演によ る地域の活性化	1		3,297,474	3,297,494	委託 (全部)	807	807	4,086	H20	○	文化振興 課
16	さぬき映画祭2009	H21.4.1~ H22.3.31	365	サンポートホール 高松他 ----- (高松市他)	1	映画・映像による地 域文化の振興と香 川の活性化	2 3	さぬき映画祭実行委員会 香川県、文化庁、(財)置県百年 記念香川県芸術文化振興財団	25,762,255	10,305,458	委託 (全部)	6,000 (映画上映 の入場者 数)	7,231 (映画上映 の入場者 数)	1,425	H18	○	文化振興 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
17	小豆島AIR2009/autumn 第2回小豆島芸術家村滞 在作家展	H21.12.22 ～ 12.20	1	小豆島三都半島 ----- (小豆島町)	4	文化芸術を活用し た地域の活性化	3	小豆島芸術家村実行委員会 (香川県、土庄町、小豆島町)	2,687,962	487,000	委託 (全部)	-	-	-	H20	○	文化振興 課
18	県民ホール文化事業 親子で楽しむ朗読コンサ ト「人魚姫」	H22.1.11	1	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	5 (舞台公演)	県民へ優れた舞台 公演の鑑賞の機会 の提供	1		2,254,355	172,430	委託 (全部)	807	228	756	H18	○	文化振興 課
19	県民ホール文化事業 ショパン・コンクール入賞 25周年記念 小山美穂恵～ポーランドの 香り～	H22.3.25	1	アルファあなぶき ホール ----- (高松市)	5 (舞台公演)	県民へ優れた舞台 公演の鑑賞の機会 の提供	1		3,983,758	3,983,758	委託 (全部)	807	535	7,446	H18	○	文化振興 課
20	第2回高松国際ピアノコン クール	H22.3.17 ～ 3.28	8	サンポートホール 高松 ----- (高松市)	5 (コンクール)	文化芸術を担う人 材の育成及び文化 芸術を活用した地 域の活性化	3	高松国際ピアノコンクール組織委員会 共催 (財)高松市文化芸術財団 顧問 香川県知事、高松市長	147,674,830	10,000,000	委託 (コンクール経費)	-	7,550	1,325	H17	×	文化振興 課
政策部 計									240,225,739	50,619,538		31,544	40,662	1,245			
21	くらしの見守り隊研修会	H21. 9.24 H22. 1.21 H22. 1.22 H22. 1.29 H22. 2. 5	6	アルファあなぶき ホール他 ----- 4市1町	2	高齢者等の消費者被 害の未然防止や消費 者啓発を目的に、委嘱 した隊員に対し、活動 を行うための必要な 知識を身につけてもら う研修	1	(委託先) 香川県婦人団体連絡協議会	2,432,612	2,432,612	委託 (全部)	1,100	880	2,764	H19	○	県民活 動・男女 共同参画 課
22	子どもも大人もみんな消費 者～さかなクンと学ぼう～	H21.11.22	1	サンメッセ香川 ----- 高松市	2 4	子供やその保護者に対 し、現在発生している消 費者トラブルの現状の周 知と未然防止やトラブル に遭ったときの相談窓口 の啓発。	2	香川県消費者団体連絡協議会	4,195,000	4,195,000	委託 (全部)	2,000	1,800	2,331	H21	×	県民活 動・男女 共同参画 課
23	消費生活相談員養成のた めの基礎セミナー	H22.1.30 2.6 2.13 2.27 3.6	5	高松市市民文化 センター ----- 高松市	3	消費生活トラブルに 対応する能力を身 に付け、地域におい て消費者のリー ダーとなる人材を 育成する。	1	(委託先) 香川県消費者団体連絡協議会	512,362	512,362	委託 (全部)	250	167	3,068	H21	○	県民活 動・男女 共同参画 課
24	消費者カアップ講座	H22.1.29	1	コープー宮 ----- 高松市	3	消費者が自ら氾濫 する情報を活用で き、消費生活に関す る各種制度の概略 を理解するための 講座	2	生活協同組合コープかがわ	194,018	194,018	委託 (全部)	50	17	11,413	H21	×	県民活 動・男女 共同参画 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
25	平成21年度四国4県振り 込み詐欺被害防止キャン ペーン事業	H21.12.15	1	丸亀町寺番街前 「三町ドーム広場」 他 ----- 高松市	5 (キャンペーン)	四国4県による連携 体制の強化を図り、 県民の振り込み詐欺 被害の未然防 止・拡大防止する。	3	四国4県振り込み詐欺被害防止 キャンペーン事業実行委員会	1,186,159	296,534	直営	500	500	593	H21	×	県民活 動・男女 共同参画 課
26	夏休み親子教室	H21.8.19	1	高松市役所13階 大会議室 ----- 高松市	3	金融広報活動(小 学生向け金銭教育 活動)	4(香川県金融 広報委員会(日 本銀行高松支 店内)の活動費 に対し、県が年 間10万円の分 担金を支出)	香川県金融広報委員会 (香川県) (日本銀行) (香川県銀行協会) (香川県信用金庫協会) (ほか県内金融機関等)	1,456,247	23,840	委託 (広告)	100	100	238	H17	○	県民活 動・男女 共同参画 課
27	金融経済講演会	H21.11.28	1	サンポートホール 高松第2小ホール ----- 高松市	2	金融広報活動(一 般消費者向け広報 活動)	4(香川県金融 広報委員会(日 本銀行高松支 店内)の活動費 に対し、県が年 間10万円の分 担金を支出)	香川県金融広報委員会 (香川県) (日本銀行) (香川県銀行協会) (香川県信用金庫協会) (ほか県内金融機関等)			委託 (広告)	300	278	43	H13	○	県民活 動・男女 共同参画 課
28	NPOマネジメント講座	H21.7.24 H22.2.20 H22.3.27	3	香川県社会福祉 総合センター ----- 高松市	3	県内のNPO活動の活 性化のため、運営上 の課題や、活動の発 展に必要なとなるマネ ジメント能力向上のため の講座を開催する。	1		398,860	398,860	直営	128	119	3,352	H14	○	県民活 動・男女 共同参画 課
29	第20回香川県ボラン ティア・NPO交流集会	H21.11.29	1	サンポート高松 ----- 高松市	2 4	ボランティア・NPOに 関心のある人や活動 している人たちが集 い、今日の課題や問 題点について話し合 い、交流と連携を図 る。	2	第20回香川県ボランティア・NP O交流集会実行委員会、香川 県社会福祉協議会、香川県ボ ランティア協会	1,961,841	534,580	委託 (映画上映)	1,000	1,000	535	H20 (H11 ~H19 後援)	○	県民活 動・男女 共同参画 課
30	男女共同参画フォーラム	H22.1.23	1	アルファあなぶき ホール ----- 高松市	2	男女共同参画社会 づくりに向けた意識 の啓発と気運の醸 成を図る。	2	香川県各種女性団体協議会	1,060,380	1,000,000	委託 (全部)	800	740	1,351	H12	○	県民活 動・男女 共同参画 課
31	若い世代の恋人間の暴力 について考える講演会	H21.11.11	1	香川大学 ----- 高松市	2	恋人からの暴力に ついて正しい理解を 深めるとともに、暴 力は許さないと 認識を共有する。	1		165,385	165,385	直営	300	300	551	H21	○	県民活 動・男女 共同参画 課
32	「みんなで子どもを育てる 県民運動」推進大会	H21.5.22	1	香川県庁ホール ----- 高松市	5 (顕彰、講演、事 例発表など)	青少年育成関係機 関・団体、関係者など が一堂に会し、県民 総ぐるみで「みんな で子どもを育てる県 民運動」に取り組む 気運を高める。	2 (青少年育成香 川県民会議に 対し、推進事業 費としてH21年 度は、50万円の 補助金を支出)	青少年育成香川県民会議	121,638	121,638	委託 (全部)	250	250	487	H20	○	県民活 動・男女 共同参画 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
33	生活設計情報教室「くらしのセミナー」	H21.4.7 ～ H22.3.5	147	コミュニティーセンター等 ----- 8市9町	3	消費生活に関する情報判断力などの基礎知識を身につけてもらうための学習啓発。	2	各市町消費者行政担当課・教育委員会生涯学習課等	594,000	594,000	直営	6,950	6,530	91	S62	○	県民活動・男女共同参画課
34	若者向け消費生活講座	H21.7.22 ～ H22.3.12	27	各高校、大学等 ----- 8市9町	3	若者に消費者としての基礎知識を提供し、消費者をめぐるトラブルの未然防止のための講座。	2	各高校、大学等	125,000	125,000	直営	3,316	3,189	39	H3	○	県民活動・男女共同参画課
35	じんけんフェスタ2009	H21.12.12	1	サンポート高松 ----- (高松市)	1	身近な人権問題に関心を持ち、理解を深める	2	共催団体 香川県教育委員会、香川県警察本部、高松法務局、香川県人権擁護委員連合会、香川県人権啓発推進会議、香川県人権啓発活動ネットワーク協議会	6,299,001	1,049,001	委託 (全部)	5,000	6,000	175	H14	○	人権・同和政策課
36	かがわ国際フェスタ2009	H21.11.1	1	アイバル香川・高松市立中央公園 ----- (高松市)	1	在県外国人と県民の交流・ふれあいの場の提供等、国際化の促進を図るため	3	かがわ国際フェスタ2009実行委員会 (香川県)(高松市)((財)香川県国際交流協会)((財)高松市国際交流協会)((独)国際協力機構四国支部)(出展団体)	3,072,688	250,000	委託 (会場設営等)	10,000	9,000	28	H7	○	国際課
37	県民防災週間2009シンポジウム	H21.7.15	1	かがわ国際会議場 ----- (高松市)	2 4	県民の防災意識の高揚等	2	(財)消防科学総合センター 香川大学危機管理研究センター	353,740	153,740	委託 (看板設営等)	400	358	429	H19	○	危機管理課
38	平成21年度総合防災訓練	H21.9.5	1	県立琴弾公園・有明グラウンドほか ----- (観音寺市)	5 (訓練)	防災関係機関の連携強化 自主防災組織の育成強化 県民の防災意識の高揚	2	香川県防災会議と観音寺市防災会議が主催	3,872,662	3,572,662	委託 (会場設営等)	1,000	1,000	3,573	S51	○	危機管理課
39	夏休み親子防災教室	H21.7.20 予定 ※荒天により中止	1	香川県消防学校 ----- (高松市)	1 3 4 5(体験)	県民防災週間における防災啓発行事の一環として、親子で防災に対する意識を高めてもらうこと	2	(財)香川県消防協会	454,395	454,395	委託 (運営の一部、連絡調整、物品等の確保)	1,000	荒天により中止	—	H18	○	危機管理課
40	自動車税の納税を呼びかける街頭キャンペーン	H22.5.14	1	高松丸亀町三町ドーム ----- (高松市)	5 (街頭キャンペーン)	自動車税の納期内納付を啓発	1		130,000	130,000	直営	—	不明	—	H18	○	税務課
総務部 計									28,585,988	16,203,627		34,444	32,228	503			

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
41	第1回太陽光発電システム展示説明会	H21.10.4	1	セトラ宇多津 宇多津町	4	太陽光発電システムの普及啓発	3	新エネルギー導入促進実行委員会 (香川県) (香川大学) (三電計装㈱) (四国機器㈱) (三宅産業㈱) (四電エンジニアリング㈱) (㈱四電工) (㈱カナック)	1,295,700	500,000	委託 (全部一括)	—	69	566	H21	×	環境政策課
42	第2回太陽光発電システム展示説明会	H21.10.17	1	セトラ高松 高松市	4	同上	3	(香川セキスイハイム㈱) (中庭産業㈱) (シャープアメニティシステム㈱) (三菱電機㈱) (四国電力㈱)			—	84	H21		×	環境政策課	
43	第3回太陽光発電システムPRパネル展示・クイズラリー抽選会	H22.3.6 ~ H22.3.22	17	セトラ高松 高松市	4	同上	3	(特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク) (中国四国地方環境事務所高松事務所) (四国経済産業局) (香川県地球温暖化防止活動推進センター)			—	183	H21		×	環境政策課	
44	ソーラーフェスティバルイオン綾川	H22.2.21	1	イオン綾川 綾川町	1	同上	3				—	261	H20		×	環境政策課	
45	建築設備展2009へのブース出展参加	H21.10.23 H21.10.24	2	サンメッセ香川 高松市	4	同上	3				—	287	H21		×	環境政策課	
46	体験型エコドライブ講習会「エコトレーニング香川」	H21.6.6	1	運転免許センター 高松市	3	エコドライブの普及	2	共催団体 社団法人日本自動車連盟香川支部	63,187	20,343	委託 (司会、講習)	15	13	1,565	H18	○	環境政策課
47	体験型エコドライブ講習会「エコトレーニング香川」	H21.10.31	1	運転免許センター 高松市	3	エコドライブの普及	2	共催団体 社団法人日本自動車連盟香川支部	61,109	20,176	委託 (司会、講習)	15	10	2,018	H18	○	環境政策課
48	「かがわ 山の日」宣言記念「第54回香川県植樹祭」	H21.11.7	1	香川用水調整池(宝山湖)周辺 (三豊市山本町)	5 (植樹活動)	緑の大切さ、重要性に対する県民の理解を深め、水源のかん養を図る。	1		3,792,839	3,792,839	委託 (植栽補助・会場設営)	250	260	14,588	S26	○	みどり整備課
49	「かがわ 山の日」宣言記念シンポジウム	H21.11.14	1	かがわ国際会議場 (高松市)	2	森林の役割や重要性についての理解を深める。	2	財団法人かがわ水と緑の財団	928,809	261,450	委託 (会場運営)	300	300	872	H21	○	みどり整備課
50	ウッドフェスティバル200	H21.10.3 ~ H21.10.4	2	サンメッセかがわ (高松市)	1	香川県産木材の需要拡大を図る。	4 (補助金のみ)		4,517,992	150,000	委託 (全部)	9000	9000	17	S62	○	みどり整備課
51	なおしま自然探検プロジェクト	H21.7.4	1	つつじ荘 直島町	1	直島に残っている自然を探索し、恵まれた環境のありがたさや大切さを実感してもらう。	4	県から補助を受けた団体が開催 (補助を受けた団体) エコアイランドなおしま推進委員会	151,899	90,729	エコアイランドなおしま推進委員会に補助金を支出	50	54	1,680	H15	○	廃棄物対策課
52	エコTシャツアート展	H21.4.29~ H21.5.6	8	海の駅なおしま 直島町	4	無農薬のコットン生地使用のTシャツ展を開催することで、「環境のまち・直島」をPRするとともに、直島ファンの盛り起こしを図る。	4	県から補助を受けた団体が開催 (補助を受けた団体) エコアイランドなおしま推進委員会	528,841	315,876	エコアイランドなおしま推進委員会に補助金を支出	—	応募 121	2,611	H16	○	廃棄物対策課

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
53	FUNFAN in NAOSHIMA (デザインうちわ展)	H21.7.10~ H21.8.31	53	海の駅なおしま ----- 直島町	4	CO2削減等の環境 活動の普及啓発を 行う。	4 県から補助を 受けた団体が 開催	(補助を受けた団体) エコア 일랜드なおしま推進委員会(香 川県デザイン協会に委託)	830,515	496,066	エコアイランド なおしま推進 委員会に補助 金を支出	-	展示 250	1,984	H21	×	廃棄物 対策課
環境森林部 計									12,170,891	5,647,479		9,630	10,892	518			
54	福祉・介護について考える シンポジウム等	H21.10.17 ~ H21.10.18 H21.10.25 H21.11.11	4	仏生山公園 イオン綾川 県民ホール ----- (高松市) (綾川町) (高松市)	1 1 2	「介護の日」及び福 祉・介護の仕事に関 する普及啓発	2	共催：香川県介護福祉士養成 校連絡協議会、香川県老人福 祉施設協議会、香川県老人保 健施設協議会、(財)かがわ健 康福祉機構、(社)香川県社 会福祉協議会、香川県福祉人 材センター、香川県介護福祉士 会	3,990,000	3,990,000	委託 (全部)	1,000	894	4,463	H21	○	健康福祉 総務課
55	平成21年度 かがわ食育・地産地消フェ スタ	H21.6.27	1	イオン綾川ショッピ ングセンター ----- 綾川町	1	食育や食文化の普 及啓発、地産地消 運動の推進を図る	2	香川県食育推進会議 かがわ地産地消運動推進会議	208,200	208,200	直営 (一部委託)	2,000	3,000	69	H20	○	健康福祉 総務課
56	女性のための スマイルハンズ&ハート	H22.2.6 H22.2.7	2	イオン高松ショッピ ングセンター ----- 高松市	1 2 4	女性の生涯を通じ た主体的な健康づく りの支援のため	1	(企画・運営) NPO法人わははネット (協力) 女性の健康支援対策事業企 画・評価委員会関係団体	1,548,840	1,548,840	委託 (全部)	10,000	10,000	155	H21	×	健康福祉 総務課
57	平成21年度 8020県民公開講座 (フォローアップセミナーを 含む)	H22.1.24	1	かがわ国際会議 場 ----- 高松市	2	口腔がんの知識の 普及を図る	2	(社)香川県歯科医師会 四国新聞社	3,441,307	2,812,000	委託 (全部)	400	404	6,960	H18	×	健康福祉 総務課
58	香川県8020運動推進業務 (口腔保健啓発業務)	H21.6.7 H21.6.14	2	郡市歯科医師会 7市4町 ----- (12ヶ所)	1	歯の健康の保持増 進	2	(委託先) (社)香川県歯科医師会 郡市歯科医師会 (社)香川県歯科衛生士会	6,600,000	2,000,000	委託 (全部)	10,000	8,099	247	S57	○	健康福祉 総務課
59	健康ウォーキング直島 「あゝ歩こう」	H21.4.11	1	海の駅なおしま~ 海の家つつじ荘 ----- (直島町)	1	地域・職域連携によ る健康づくり	3	直島町健康づくり推進協議会健康 ウォーキング直島「あゝ歩こう」実 行委員会 (直島町、三菱マテリアル直島製錬 所、商工会、老人会、婦人会、女性 会議、食改、体育指導員、東讃保健福 祉事務所)	137,410	68,705	直営	150	147	467	H20	×	東讃保健 福祉事務 所
60	うつ予防講演会	H21.10.16	1	ベッセルおおち ----- (東かがわ市)	2	自殺予防対策の一 環として、住民がう つ病について正しい 知識がもてるよう普 及啓発を実施	1		34,180	17,090	直営	70	62	276	H20	○	東讃保健 福祉事務 所
61	親子教室等「親の会」	H21.5.15 H21.7.10 H21.9.18 H21.11.20 H22.1.15 H22.3.5	6	中讃保健福祉事 務所 ----- (丸亀市)	2 3	子育ての情報交換 や研修会を行なうこ とにより、悩みの共 有と共に、子育ての 方法を学ぶ。自主グ ループの育成を図る。	2	「親子教室等」親の会	55,555	45,555	直営	96	96	475	H16	○	中讃保健 福祉事務 所

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
62	中讃地域 食育ネットワーク研修会	H22.1.7	1	中讃保健福祉事 務所 (丸亀市)	2	食育の推進のための 関係者の資質向上	1		29,340	29,340	直営	100	77	381	H20	×	中讃保健 福祉事務 所
63	当事者のための 生活技術向上セミナー	原則 毎月1回	12	中讃保健福祉事 務所 (丸亀市)	1 2 3	地域で生活する障 害者の社会生活を 支援する	1		52,437	26,219	直営	200	200	131	H18	○	中讃保健 福祉事務 所
64	食育フォーラム	H21.9.27	1	マリンウェーブ 三豊市	2 4	食育劇と講演を通じ て、野菜をしっかり 食べること。よくか んで食べることの大切さを啓発	2	西讃地区食育推進ネットワ ーク会議(県、観音寺市、三豊市、 栄養士会、2市食生活改善推進 協議会、JA香川県、JA香川豊 南外)	41,740	41,740	直営	150	78	535	H18	○	西讃保健 福祉事務 所
65	家族で食べたいバランスメ ニューコンテスト	H21.7.1 ～ 9.30 10.13 11.8	94	瀬戸内短期大学 三豊市	5(コンテスト) 応募者216点	西讃地区の食育推 進の一環として家族 で食べたことがある バランスメニューを 応募し優秀作品を 普及する	4	西讃地区食育推進ネットワ ーク会議(県、観音寺市、三豊市、 三豊・観音寺市医師会、栄養士 会、2市食生活改善推進協議 会、JA香川県、JA香川豊南、 西詫間漁協三崎女性部外)	118,075	118,075	直営	140	216	547	H20	○	西讃保健 福祉事務 所
66	銭形まつり 薬物乱用防止パレード	H21.7.25	1	柳町 銭形まつり会場 (観音寺市)	5(パレード)	薬物乱用防止 啓発活動	2	観音寺 ライオンズクラブ	86,643	86,643	直営	350	350	248	H4	○	西讃保健 福祉事務 所
67	老年期うつ病講演会	H22.11.12	1	土庄町総合会館 土庄町	2	普及・啓発	1	—	23,750	23,750	直営	—	33	720	H21	○	小豆総合 事務所保 健福祉課
68	児童虐待防止講演会	H21.11.30	1	県庁ホール (高松市)	2	児童虐待問題に対 する社会的関心の 喚起を図るため	1		227,120	227,120	直営	270	270	841	不明	○	子育て支 援課
69	里親制度普及啓発 シンポジウム 「広がれ！ドレミファミリー の輪～今、子どもたちのた めにできること」	H21.10.25	1	かがわ国際会議場 (高松市)	2	社会的養護の意義 を考え、里親制度を 普及させるため	1		214,220	214,220	直営	200	102	2,100	H20	○	子育て支 援課
70	かがわ育児の日フェスティ バル	H21.10.4	1	さぬきこどもの国 (高松市)	1	社会全体で子どもを 育む意識啓発を図 る	4 (任意団体で実施)	かがわ子育て支援県民会議(67 団体)	1,828,486	940,842	委託 (全部)	—	12000	78	H16	○	子育て支 援課
71	平成21年度 障害者就労支援シンポジ ウム	H21.12.1	1	サンポート ホール高松 (高松市)	2	障害者の就労支援 を強化するため、障 害者を雇用するの 際の社員教育のあ り方を探る。	2	高松障害保健福祉圏域地域自 立支援協議会	941,342	941,342	委託 (全部)	200	206	4,570	H18	×	障害福祉 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
72	障害者週間啓発イベント	H21.12.5	1	あじの里地域生活 支援センター ----- (高松市)	1 3 4	ともに生きる社会作 りを旨として、障害 者が社会活動へ積 極的に参加する機 会をつくるとともに、 障害者の社会参加 を一層進めていく。	3	障害者週間啓発 イベント実行委員会 一歩の会	156,000	150,000	委託 (全部)	—	100	1,500	H14	×	障害福祉 課
73	障害者週間啓発イベント	H21.12.6	1	山本町農村環境 改善センター ----- (三豊市)	1 4	ともに生きる社会作 りを旨として、障害 者が社会活動へ積 極的に参加する機 会をつくるとともに、 障害者の社会参加 を一層進めていく。	3	障害者週間啓発 イベント実行委員会 障害者の物づくり サポート実行委員会	162,482	150,000	委託 (全部)	—	—	—	H14	×	障害福祉 課
74	成年後見制度講演会	H21.12.12	1	サンポート高松 ----- (高松市)	2	成年後見制度の理 解促進のための情 報発信	2	(人権同和政策課 じんけんフェスタ内実施)	97,725	97,725	直営	144	144	679	H19	○	障害福祉 課
75	障害者スポーツイベント	H21.10.24	1	かがわりハビリ テーションセンター ----- (高松市)	1 2	障害者がスポーツ を通じて交流を深 め、障害者の社会 参加を促進するた め	2	かがわ総合リハビリテーション 事業団	264,830	264,830	委託 (全部)	100	100	2,648	H21	×	障害福祉 課
76	第29回サンサン祭り	H21.4.26	1	サンポート高松 ----- (高松市)	1 4	1981年の国際障害 者年を記念して、障 害のある人どない人 とボランティアの3 者が集い、交流を深 める。	2 3	サンサン祭り実行委員会 共催：香川県、香川県ボランティ ア協会 (香川県、香川県ボランティア協 会、香川県身体障害者協会、香 川労働局、県共同募金会、香川 県作業療法士会外 計100団 体)	4,395,400	1,800,000	委託 (全部)	30,000	30,000	60	S56	○	障害福祉 課
77	第10回香川県障害者ス ポーツ大会	H21.9.12	1	県立丸亀競技場 ----- (丸亀市)	1	障害者がスポーツ 競技を通じて、機能 の回復と体力の維 持向上、競技レベル の向上を図り、自己 の障害を克服して 主体性や協調性を 育むとともに、自立 と社会参加の促進 を図る。	3	香川県障害者スポーツ大会実 行委員会	5,911,635	2,160,000	委託 (全部)	2,130	2,100	1,029	H11	○	障害福祉 課
78	第30回こころの健康展	H21.7.17~ 7.18	2	ゆめタウン高松 ----- (高松市)	4	一人ひとりが心の健 康について関心をも ち、心の病について正 しい理解を促すと共に 心の病を抱える方へ の温かい支援を呼び かける。	2	香川県精神保健福祉協会	939,974	939,974	直営	2,000	1,600	587	S55	○	障害福祉 課
79	第38回精神保健福祉大会	H21.11.25	1	三木町文化交 流プラザ ----- (三木町)	2	心の健康について 一人ひとりに考えて いただくと共に、家 庭や職場、地域で の役割を考える。	2	香川県精神保健福祉協会 三木町	595,310	72,310	直営	500	452	160	S47	○	障害福祉 課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
80	かがわ自殺予防対策シン ポジウム	H22.2.21	1	社会福祉総合セン ター ----- (高松市)	2	シンポジウムを通し て、自殺予防につい て、「今、私たちにで きること」を一緒に 考える	2	香川県自殺対策連絡協議会	415,770	415,770	直営	250	170	2,446	H20	○	精神保健 福祉セン ター
81	第2回川部みどり園まつり	H21.10.24	1	香川県立 川部みどり園 ----- 高松市	1	川部みどり園まつり を通じて地域との交 流と地域福祉の推 進を図る。	3	川部みどり園 川部みどり園わかば児童課父 母の会 川部みどり園成人課育成会 川部みどり園通所保護者会	429,000	117,000	直営	400	500	234	H20	○	障害福祉 課(川部 みどり園)
82	一日血液センター所長行 事	H21.7.4	1	イオン高松ショッピ ングセンター ----- (高松市)	1	献血への理解と協 力を求める	2	共催団体 日本赤十字社香川県支部 香川県赤十字血液センター	125,000	15,000	直営	-	-	-	S42	○	薬務感染 症対策課
83	高校生街頭献血キャン ペーン(ポアランティア)	H21.7.18	1	ゆめタウン高松 ----- (高松市)	3 5 (街頭キャンペーン)	献血学習会 献血呼びかけ	2	共催団体 香川県赤十字血液センター	26,087	26,087	直営	49	44	593	H17	○	薬務感染 症対策課
84	高校生街頭献血キャン ペーン(ポアランティア)	H22.1.24	1	ゆめタウン丸亀 ----- (丸亀市)	3 5 (街頭キャンペーン)	献血学習会 献血呼びかけ	2	共催団体 香川県赤十字血液センター	9,835	9,835	直営	16	13	757	H17	○ (予定)	薬務感染 症対策課
85	平成21年度麻薬・覚せい 剤乱用防止運動香川大会	H21.10.20	1	アルファあなぶき ホール(小ホール) ----- (高松市)	2	麻薬・覚せい剤等の 乱用による弊害の 正しい認識と中四国 関係者の一層の協 力の確認	2	共催団体 厚生労働省	1,045,195	164,000	直営	600	560	293	S42(中 国、四 国各県 の持ち 回り8 年ごと)	×	薬務感染 症対策課
86	犬のしつけ教室	H21.11.3	1	国営讃岐まんのう公園 ----- まんのう町	3	飼主(今後犬を飼う予 定の者も含む)に犬の 生態、習性を理解して もらい、犬を適正に飼 養する生活の実現を 進める。	1		509,985	509,985	委託 (全部)	200	250	2,040	H16	×	生活衛生課
87	食品衛生教室	平成21年8 月5日 平成21年8 月27日	2	四国明治乳業 (三豊市) ----- 協同食品 (坂出市)	3	三者の意見交換を 通して、相互理解と 食品衛生知識の普 及啓発を図る	2	(社)香川県食品衛生協会	255,720	255,000	委託 (全部)	80	78	3,269	不明	○	生活衛生課
88	第1回公開講座	8月20日	1	香川県社会福祉 総合センター ----- 高松市	3	地域の保健医療の 向上に貢献するた め	1		65,447	65,447	直営	80	66	992	H16	○	保健医療 大学
89	第2回公開講座	11月6日	1	本学大講義室 ----- 高松市	3	地域の保健医療の 向上に貢献するた め	1		40,950	40,950	直営	150	101	405	H16	○	保健医療 大学
健康福祉部 計									35,024,990	20,593,594		62,025	72,512	284			

番号	イベント等の名称	開催日	開催日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
90	輸出入にかかる知的財産セミナー	H22.1.15	1	高松商工会議所 ----- (高松市)	2	海外の商標問題やその対策に関する情報提供	2	共催団体 ・経済産業省四国経済産業局 ・日本貿易振興機構香川貿易情報センター(ジェトロ香川)	25,030	25,030	直営	会議室定員 (60)	38	659	H20	○	産業政策課
91	国外・国内 知的財産相談会	H22.3.15	1	県庁本館12階 第7会議室 ----- (高松市)	5 (個別相談会)	海外の商標問題やその対策に関する情報提供等	2	共催団体 ・経済産業省四国経済産業局 ・日本貿易振興機構香川貿易情報センター(ジェトロ香川)	116,540	116,540	直営	5件 (5人)	6件 (13人)	8,965	H20	×	産業政策課
92	高温高压流体技術研究所の成果発表・特別講演会	H21.6.29	1	高温高压流体技術研究所 ----- (高松市)	2	高温高压流体技術研究所の研究成果の普及とPR	4	実施主体: かがわ産業支援財団が実施 (県補助)	207,328	207,230	実施団体に対する補助	50	53	3,910	H11	○	産業政策課
93	高温高压流体技術研究所の一般公開	H21.8.21	1	高温高压流体技術研究所 ----- (高松市)	2	高温高压流体技術研究所の研究成果の普及とPR	4	実施主体: かがわ産業支援財団が実施 (県補助)	75,547	75,547	実施団体に対する補助	70	80	944	H10	×	産業政策課
94	香川の伝統的工芸品展	H21.11.13 ~ H21.11.20	8	高松三越 ----- (高松市)	4	香川県の歴史と風土に育まれた伝統的工芸品の普及を図る。	1		661,425	661,425	委託 (会場設営等)	購入予定者 1,500人	購入者 1,771人 来場者 約10,000人	66	S60	○	経営支援課
95	09香川まぢめぐり てくてくさめき	4/1~ 12/31	275	県下全域 ----- (8市9町)	5 (イベント& キャンペーン)	香川ならではの歴史文化、自然、食等「香川の素顔」が体感できるメニューを揃え、新たな滞在型の旅行ニーズを中長期的に創出する契機づくり	3	09香川まぢめぐりてくてくさめき 実行委員会 (市町長会、経済団体、交通事業者、観光関連団体 外)	33,743,621	33,734,235	委託 (広告・広報業務)	設定なし	3,405,570	10	H21	×	観光振興課
96	“きてみまい！たべてみまい！あそびまい！”かがわ観光フェスタ2009	H21.10.30 H21.11.1	2	JR高松駅 ----- (高松市)	1 4	香川県の県産品(特に食)や各自治体のPR、地産地消の啓蒙	4 (後援、県産品ブースの出店)	香川県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部主催	1,400,000	320,000	県産品振興協議会への負担金	設定なし	7,500	43	H21	×	県産品振興室
97	第7回郷東テクノフェスタ(産業技術センター一般公開)	H21.11.7	1	産業技術センター ----- 高松市	3 4	県民が施設に親しむ機会の提供	1		158,896	158,896	直営	300	300	530	H15	×	産業技術センター
98	新分野進出支援セミナー	H22.3.12	1	ホテルパールガーデン ----- 高松市	2	航空機業界に関する企業等への知識、意識の普及	2	(財)かがわ産業支援財団	277,460	277,460	直営	50	52	5,336	H21	×	産業技術センター
99	第8回高松高等技術学校祭	H21.11.7 H21.11.8	2	高松高等技術学校 ----- (高松市)	1 3 4	本校の活動内容やものづくりのすばらしさをアピールするとともに、訓練生のモチベーションを高める	1	高松高等技術学校 イベント 実行委員会	135,909	100,149	直営	1,000	800	125	H14	○	高松高等技術学校

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名	
100	第7回丸亀高等技術学校 学校祭	H21.8.22	1	丸亀高等技術学 校 ----- (丸亀市港町)	1 3 4	丸亀高等技術学校 の各種催し物を通 じ、技能の現場に対 して興味を持ち、技 能の習得に向かう 意識づけとする。	1	丸亀高等技術学校 ト実行委員会	50,000	50,000	直営	500	470	106	H15	○	丸亀高等 技術学校	
商工労働部 計									36,851,756	35,726,512		3535	3,424,876	10				
101	香川の食材見本市2009	H21.11.26	1	サンメッセ香川 ----- (高松市)	5 (交流会)	農商工連携による 新商品の開発や新 たなビジネスモデル の展開を支援する。	2	(主催) かがわ地産地消運動推進会議 (財)かがわ産業支援財団 香川県食品産業協議会 (共催) かがわ県産品振興協議会 かがわ農産物流通推進協議会 さぬきうまいもんネットワーク 香川県循環型農業推進協議会 讃岐三番銘柄化推進協議会 (社)香川県水産振興協会 高松市農産物ごじまん品推進協議会	918,827	918,827	委託 (企画・運営)	2,000	1,500	613	H21	×	農政課	
102	第22回男女でつくる農山漁 村フェスタ	H22.2.19	1	サンポートホール 高松第1小ホール ----- (高松市)	2	農山漁村地域の男 女共同参画の推進	2	農山漁村女性の日実行委員会 (以下構成団体) ・香川県生活研究グループ連絡協 議会 ・JA香川県女性組織協議会 ・香川県漁協女性部連合会 ・香川県林業普及協会 ・香川県農業士連絡協議会	261,700	261,700	直営	300	246	1,064	S63	○	農業経営 課	
103	「さぬきの夢2000」手打ちう どん教室とうどんの振舞い	H21.7.11	1	瓦町駅ビルコン コース ----- (高松市)	3 5 (試食)	7月2日「うどんの 日」にちなみ、郷土 食であるうどんの伝 統文化について考 え、次世代に継承し ていく。	2	(株)高松天満屋、さぬきうどん 協同組合、かがわ農産物流通 消費推進協会	16,422	16,422	直営	手打ちうど ん教室30 組 うどんの試 食300人	手打ちうど ん教室30組 うどんの試 食300人	55	H18	×	農業生産 流通課	
104	秋だ！さぬきの新米フェア 2009	H21.8.30	1	イオン高松ショッ ピングセンター ----- (高松市)	1	本県の新米の販売 開始に合わせ、良 食味の県産米に関 する情報発信を行う ことにより、県産米 のイメージアップと 消費拡大を推進す るとともに、地産地 消費意識の向上を図 る。	2	香川県農業協同組合、香川県、 かがわ農産物流通消費推進協 議会	1,438,394	100,000	委託 (全部)	5,000	5,000	20	H16	○	農業生産 流通課	
105	市場DEフラワーアレンジメ ント	H21.7.20 H21.10.12 H21.11.23 H22.1.11 H22.2.11	5	高松市中央卸売 市場花き棟 ----- (高松市)	3	花きの流通拠点施 設において、小学生 親子を対象とした花 の利活用体験を実 施し、花文化の発信 と県産花きの消費 拡大に貢献する。	2	高松市中央卸売市場運営協議 会	97,400	67,400	直営	150	150	449	H21	×	(高松市 中央卸売 市場運営 協議会単 独事業と して継続)	農業生産 流通課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
106	第29回県民花まつり	H21.10.31 ~H21.11.1	2	サンメッセ香川 (高松市)	1 4	趣味園芸の普及発展と、花と緑いっぱい運動の推進に努め、明るい社会の建設に貢献する。	2	香川県園芸文化協会	846,139	349,340	直営	12,000	13,000	27	S56	○	農業生産流通課
107	さめきうどん技能グランプリフェア	H22.1.22 ~ H22.1.23	2	イオン高松ショッピングセンター (高松市)	1	本県の製麺技術の高さを広く周知し、「さめきうどん」の一層のブランド化と販路拡大を図る。	2	香川県、さめきうどん協同組合、かがわ農産物流通消費推進協会	117,755	117,755	直営	10,000 (うどんの試食 1,200人)	10,000 (うどんの試食 1,200人)	12	H18	○	農業生産流通課
108	フラワーフェスティバルかがわ2010	H22.2.27 ~ H22.2.28	2	サンメッセ香川 (高松市)	1 3 4	本県花き生産者の生産技術の向上・改善を図るとともに、県民の県産花きへの関心を高め、日常生活での花の普及と定着と花き産業の発展を図る。	3	花の里かがわ推進委員会(香川県、県花き園芸協会、JA、幹高松花市場、県花卉商業協同組合、農林中央金庫高松支店、県連合自治会、財)香川県老人クラブ連合会、県婦人団体連絡協議会、県生活研究グループ連絡協議会等)	5,148,006	1,345,000	委託 (会場設営)	50,000	50,000	27	S63	○	農業生産流通課
109	第7回香川県畜産フェア	H21.12.5 H21.12.6	2	サンメッセ香川 (高松市)	1	畜産物の消費拡大、食肉知識の普及推進のため	3	第7回香川県畜産フェア実行委員会 (社)香川県畜産協会、JA香川県、香川県食肉消費対策協議会、讃岐三畜銘柄化推進協議会、讃岐牛等枝肉展示共助会、四国地区乳業協会香川県支部、香川県牛乳流通改善協議会、香川県ホルスタインクラブ、香川県乳用牛群検定組合、香川県食肉事業協同組合連合会、高松食肉事業協同組合、香川県養豚協会、香川県養鶏協会、香川県食鳥流通協議会、香川県食鳥肉販売業生活衛生同業組合、讃岐畜産女性の会、日本ハム・ソーセイジ工業協同組合四国支部、財団法人日本食肉消費総合センター)	6,500,000	1,592,990	委託 (全部)	25,000	25,000	64	H14	○	畜産課
110	ふるさと探検隊	H21.7.31	1	高濃池、香川用水調整池、香川用水東西分水工、香川用水記念公園、豊稜池 (まんのう町、三豊市、観音寺市)	5 (現地学習会)	子ども(小学生)に水の大切さや農業水利施設の担う役割を学習する機会の提供	2	高松市PTA連絡協議会	190,185	126,790	直営	80	77	1,647	H8	○	農村整備課
111	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト (募集期間) H21.4.1~ H21.11.30	H21.4.1~ H21.11.30	256	県庁ギャラリー外 (県下一円)	4	美しい農村風景の写真を通じて、農村の持つ素晴らしさを再発見し、県民がその理解を深める。	1		713,120	458,580	直営	80	応募:74人 (152点)	6,197	H12	○	農村整備課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
112	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー	H21.12.20	1	川奥そば道場、チャレンジャー「いきいき館」(まんのう町)	5 (日帰りバスツアー)	グリーン・ツーリズムのPRと新たな活動モデル体験による評価	4	かがわグリーン・ツーリズム推進協議会	45,720	45,720	直営	10	8	5,715	H17	○	農村整備課
113	水産食育教室	H21.9～ H22.2	18	県内	3	料理、食育教室等の開催により県内水産物消費の拡大を図る。	4 (団体補助)	(社)香川県水産振興協会	531,032	247,698	直営	750	770	322	H14	○	水産課
114	県内外量販店における「香川ブランドハマチ」等フェア	H21.10～ H22.1	42	県内、岡山県	5 (試食販売)	香川県ブランドハマチ等の試食販売により、消費拡大を図る。	3	さぬき海の幸(ハマチ・ノリ・イリコ)販売促進実行委員会(県、香川県漁業協同組合連合会、(社)香川県水産振興協会	716,558	300,000	直営	-	40,000 (試食者数)	8	H21	○	水産課
115	中讃秋のびちびち・とれたて市	H21.10.31	1	宇多津町	1	資源保護啓発及び中讃海域の魚介類の産直市により漁業をPRし、活性化を図る。	4 (団体補助)	中讃海域漁業・漁村活性化協議会(丸亀市・坂出市・宇多津町・多度津町、漁連、地元漁協、県)	2,015,673	150,000	委託 (設営)	-	25,000	6	H15	○	水産課
116	水産教室	H21.6～ H21.10	7	さぬき市ほか	3	小学生及び父兄等を対象に水産業を体験してもらい、漁業の理解の促進と地元水産物の消費拡大を図る。	4 (団体補助)	漁業協同組合又は漁協関係団体	1,054,423	523,000	直営	570	565	926	H8	○	水産課
農政水産部 計									20,611,354	6,621,222		106,240	171,690	39			
117	道路余幅地における緑化作業講習会	H22.3.23	1	県庁 高松市	3	「香川さわやかロード」の新規参加団体の増加及び既参加団体の緑化技術の向上	1		15,000	15,000	直営	初回につき不明	24	625	H21	○	道路課
118	かがわ防災啓発フェスタ2009	H21.8.23	1	高松サポート同庁舎 アイホール サポート高松 大型テント広場 高松市	2 1	土砂災害に対する防災意識の普及・啓発	1		949,317	949,317	委託 (全部)	1,000	900	1,055	H21	×	河川砂防課
119	高齢化対応住宅講座	H21.11.18	1	社会福祉総合センター 高松市	3	高齢者向け住宅や高齢期の住替えに関する情報提供	1		161,575	161,575	直営	70	59	2,739	H7	×	住宅課
120	木造住宅耐震対策講座	H22.2.20	1	高松市生涯学習センター 高松市	3	耐震改修促進のための普及啓発	1		286,975	286,975	直営	200	108	2,657	H16	○	住宅課
121	住まいづくり講座	H22.3.19	1	社会福祉総合センター 高松市	3	良質な住宅建設促進のための情報提供(今回のテーマは省エネ住宅)	1		160,630	160,630	直営	70	44	3,651	H12	×	住宅課

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
122	木造住宅耐震対策講習会 (技術者向け)	H22.1.26	1	サンメッセ香川 高松市	3	耐震改修促進のた めの技術者養成	1		185,828	185,828	直営	100	88	2,112	H16	○	住宅課
土木部 計									1,759,325	1,759,325		1,440	1,223	1,439			
123	きらめくかがわの高校フェ ア～高校合同説明会～	H21.8.22 H21.8.23	2	サンポート高松 多度津町民会館 (高松市) (多度津町)	1 4	県内の高校等の活 動状況を広く県民に 知らせる	2	高松市教育委員会 香川県私立中学高等学校連 合会 独立行政法人国立高等専門学 校機構	1,053,000	1,053,000	委託 (会場設営)	3,000	2,800	376	H18	○	高校 教育課
124	第20回県民スポーツ・レク リエーション祭	H21.11.1 (スポーツ大 会は9.6～ 10.25)	1 (スポー ツ大会 は8日 間)	サンポート高松 (スポーツ大会は坂 出市立体育館ほ かで実施) (高松市)	1	県民がスポレク活 動に親しみ、生涯に わたり、健康で豊か なスポーツライフを 営む契機とする	2 3	主催 県民スポーツ・レクリエーション祭 実行委員会、香川県教育委員 会 共催 香川県体育指導委員連 絡協議会、香川県体育協会、香 川県レクリエーション協会	1,717,406	1,400,000	委託 (全部)	12,000	9,339	150	S63	○	保健 体育課
125	第64回香川丸亀国際ハー マラソン大会	H22.2.6 H22.2.7	2	丸亀市、宇多津 町、坂出市 (丸亀市) 県丸亀競技場	1	スポーツ振興、普及 啓発	2 3	主催：丸亀市、県教育委員会、 香川陸上競技協会、香川丸亀 国際ハーマラソン大会組織委員会 共催：県、岡山放送、産経新聞 社、サンケイスポーツ、(財)OHKスポ ーツ振興財団香川	94,085,269	12,500,000	委託 (警備・記録)	8,550	8,932	1,399	S22	○	保健 体育課
126	学校支援ボランティア推進 フォーラム	H21.12.25	1	アルファあなぶき ホール (高松市)	2	学校と学校支援ボ ランティアが協働し た教育活動の取組 みが県内各地で定 着するよう普及啓発 する	1		1,073,445	1,073,445	直営	800	803	1,337	H20	○	生涯 学習・ 文化 財課
127	父親の家庭教育参加支援 事業 (おやじフェスティバル)	H21.3.7	1	サンポート高松 (高松市)	1	父親の家庭教育、 地域活動への参加 を支援する	4 (委託)	さぬきおやじ連合	1,000,000	1,000,000	委託 (全部)	1300	1500	667	H21	○	生涯 学習・ 文化 財課
128	家庭教育指導者養成基本 講座	H21.6.28 H21.7.11	2	まんのう町仲南農村環 境改善センター、高松 市牟礼支所 (まんのう町) (高松市牟礼)	2 3	地域において家庭 教育を支援できる人 材を養成する	1		46,940	46,940	直営	80	40	1,174	H9	○	生涯 学習・ 文化 財課
129	県民カレッジ「地域活動支 援講座」	H21.9.26～ 10.31のう ち3回	3	社会福祉総合 センター (高松市)	3	生涯学習機会を提 供する	1		42,210	42,210	直営	60	58	728	H13	○	生涯 学習・ 文化 財課
130	みんなで考える人権のつ どい 【じんけんフェスタ2009と して人権・同和政策課が委 託】	H21.12.12	1	サンポート ホール高松 (高松市)	1	人権について学ん だり、考えたりする	2	・香川県・香川県教育委員会・ 香川県警察本部・高松法務局・ 香川県人権擁護委員連合会・香 川県人権啓発推進会議・香川県 人権啓発活動ネットワーク協議会	720,000	720,000	委託	2,000	2,000	360	H15	○	人権・ 同和 教育課
教育委員会 計									99,738,270	17,835,595		27,790	25,472	700			

番号	イベント等の名称	開催日	開催 日数	開催場所 (市町名)	形態 (その他)	目的	開催形式 (その他)	共催団体又は実行委員会名 (実行委員会構成団体名)	事業費 (円)	県費 (円)	直営・委託 ()	予定参加 者数(人)	参加者数 (人)	参加者1人 当たりの県 費(円)	開始 年度	平成22年 度実施の 有無	課(室)名
131	第44回四国4県警察音楽 隊演奏会 ～香川県警察音楽隊創立 50周年記念～	H21.12.6	1	アルファあなぶき ホール大ホール (高松市)	5 (演奏会)	音楽を通じて県民と のふれあいを深め、 警察活動に対する 県民の理解と協力を 得、併せて参加各 県警察音楽隊員の 演奏技術の向上を 図ることを目的とし ている。	2	主催：四国管区警察局、香川県 警 共催：徳島県警、愛媛県警、高 知県警ほか 後援：四国管区内公安委員会 連絡会議ほか	1,154,158	1,154,158	直営	1,850	1,850	624	S35 四国4 県持ち 回りで開 催	×	総務課
132	防犯アカデミー2009	H21.10.12 10.18 10.25 11.3	4	ミュージアムホール 高松市	3	安全・安心まちづく りを担うボランティア リーダーを養成	4	香川県安全・安心まちづくり推 進協議会 (香川県、(財)香川県防犯協会 連合会ほか)	458,636	213,730	直営	220	166	1,288	H20	○	生活安全 企画課
公安委員会 計									1,612,794	1,367,888		2,070	2,016	679			
133	まちかど・水・キャンペーン 2009	H21.7.30	1	イオン高松ショッピング センター (高松市)	4	香川用水調整池 「宝山湖」の効用や 県営水道の役割等 について啓発	2	独立行政法人水資源機構吉野 川局との共催	150,150	50,050	直営	—	2,000	25	H21	○	総務課
水道局 計									150,150	50,050			2,000	25			
合 計									476,731,257	156,424,830		278,718	3,783,571	41			

「形態」欄は、1 フェスティバル、スポーツ・レクリエーション 2 シンポジウム、セミナー、講演会 3 教室・講座 4 展示 5 その他()

「開催形式」欄は、1 県単独開催 2 他の団体との共催 3 実行委員会形式 4 その他()

イベントの概要

番号	イベント等の名称	1	ふるさと回帰フェア2009 in大阪
実施期間	開始 平成19年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施主体名	認定NPO法人ふるさと回帰支援センター		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	内閣官房、総務省、国土交通省、環境省、農林水産省、厚生労働省、文部科学省、経済産業省、オーライ!ニッポン会議(都市と農村漁村の共生・対流推進会議)		
対象者	主として大阪都市圏住民		
参加者数	予定 延べ 30人 ⇒ 実績 延べ 22人		
開催日	平成21年9月12日 [1日間]		
開催場所(会場名)	大阪市(梅田スカイビル)		
イベント等の目的	現在の食の問題をはじめ、労働環境の悪化など都市住民を取り巻く環境は厳しさをましている。また、若者を中心に自然の中で人間らしい生き方を求める機運も芽生えてきている。日本の四季に彩られた土地で、地元の食材を用いた食事、ちょっと前の日本人が普通に感じていた暮らしの豊かさとは、今いちど都市と農山漁村の新しい関係(交流)を通じて考え直すことができる場の提供		
実施内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念講演・基調講演・パネルディスカッション・就業支援コーナー等 ・ ふるさと回帰自治体相談コーナー(このコーナーに出展) 香川県ブースでは、県と市町が連携して、田舎暮らしに関する相談や情報提供、就職相談などを実施		
目的の成果をあげるために工夫した点	地域資源や移住の受入体制等について、大都市圏の関心層にわかりやすく訴えるためのパンフレットを作成し、出展ブースにおいて、移住相談を実施した。		
他のイベントに参加する理由	認定NPO法人ふるさと回帰支援センター主催のイベントにブース出展する形式で参加するため。		
財源内訳	事業費 181,140円		投入職員数 3人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般財源 181,140円 ・ 国費 ・ 市町費 ・ 参加者負担金 ・ その他 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 人日 実施期間 3人日 	委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H19.10	H20.10	H21.9	H22.9	
事業費	57,480	28,740	181,140	267,925	
県費	57,480	28,740	181,140	133,963	
参加者数	不明	15	22	70	

イベントの概要

番号	イベント等の名称	2	水のフェスティバル i n 府中湖
実施期間	開始 平成11年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	府中湖水のフェスティバル実行委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(県・坂出市・坂出市府中連合自治会ほか地元諸団体)		
対象者	一般県民及び県外からの参加者		
参加者数	・予定 延べ 11,000人 ⇒ ・実績 延べ 11,000人		
開催日	平成21年10月3日、10月4日 [2日間]		
開催場所(会場名)	坂出市府中町(府中湖カヌー研修センター周辺)		
イベント等の目的	水道の歴史や水の大切さ、水の有効利用などについての認識を高めるため		
実施内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラゴンカヌー大会・いきいきウォーク(府中湖周辺の史跡めぐり等) ・水のステージ・テント村(節水展、水道パネル展、バザー等) 		
目的の成果をあげるために工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ等での事業内容の変更 ・ドラゴンカヌー大会については、京都府久美浜や高知県須崎市など県外でのPR活動 		
実行委員会形式で実施する理由	イベントを実施する際、地元との連携が必要不可欠であるため。県は、イベント目的が県民への節水啓発であること、及びダム管理者であることから実行委員会に参画している。		
事業費 7,004,340円		投入県職員数 5人日	
財源内訳	・一般財源 2,000,000円	・会費(反省会費・祝金) 216,000円	内訳 準備期間 2人日 実施期間 3人日
	・市町費 2,000,000円	・お茶券販売等 28,800円	
内訳	・自治会補助金 1,200,000円	・利息等 7,540円	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	・参加者負担金 480,000円		
	・協賛金 1,072,000円		
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	プログラム広告料		委託の内容 警備業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.10	H19.9	H20.10	H21.10	H22.10
事業費	8,737,671	7,339,468	9,296,126	7,004,340	7,074,011
県費	2,000,000	2,000,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000
参加者数	10,000	8,000	11,000	11,000	8,000

イベントの概要

番号	イベント等の名称	3	かがわジュニア・オーケストラ育成事業
実施期間	開始 平成13年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(受託者) 県民ホール指定管理者 穴吹エンタープライズ株式会社		
対象者	受講生：小・中・高校生 (定期演奏会・公開レッスンは、観客として一般県民)		
参加者数	予定 延べ 1,176人 ⇒ 実績 延べ 850人 (団員数 145人)		
開催日	レッスン・練習	平成21年4月1日～平成22年3月31日 〔365日間〕	
	定期演奏会	平成21年8月30日〔1日間〕	
	公開レッスン	平成22年2月6日〔1日間〕	
開催場所(会場名)	高松市(アルファあなぶきホール〔香川県県民ホール〕)		
イベント等の目的	文化芸術を担う人材の育成		
実施内容(概要)	基礎コースでは、通年で楽器ごとの個別レッスンを行った。また、合奏コースでは通年で練習を、また観客を招いての公開レッスン及び定期演奏会を各1日、実施した。なお、公開レッスンにおいては、基礎コースの発表会も併催した。		
目的の成果をあげるために工夫した点	県民ホール指定管理者である穴吹エンタープライズに、民間会社としての業務運営の効率性や円滑性を発揮してもらっている。		
県単独で実施する理由	受講者は、県内全域から広く一般公募しており、特定の団体と共催又は実行委員会形式で行うことはふさわしくないため。		
財源内訳	事業費 7,541,255円		投入職員数 25人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 7,541,255円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 		準備期間 24人日
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 委託の内容 全部

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位：円、人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22(見込)
事業費	5,992,496	6,575,914	6,651,772	7,541,255	8,989,000
県費	5,992,496	6,575,914	6,651,772	7,541,255	8,989,000
参加者数					
定期演奏会	905	657	1,000	850	1,050
団員数	180	180	164	145	128

イベントの概要

番号	イベントの名称	4	美術ワークショップイン小豆島2009
実施期間	開始 平成13年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(委託先) 美術ワークショップイン小豆島 (小豆島町、小豆島町教育委員会、土庄町、土庄町教育委員会、小豆島観光協会、小豆島振興協議会)		
対象者	小・中・高校生 (いずれも公募)		
参加者数	予定 延べ 110人 ⇒ 実績 延べ 117人		
開催日時	平成21年7月25日 (10時から15時30分まで) 平成21年7月26日 (10時から15時30分まで) [2日間]		
開催場所(会場名)	小豆島町(サン・オリーブ、オリーブ記念館)		
イベント等の目的	文化芸術を担う人材の育成		
実施内容(概要)	小豆島において、東京藝術大学の教授などを招へいし、公募により集まった小・中・高校生を対象に美術のワークショップを実施。		
目的の成果をあげるために工夫した点	当初は、県直営であったが、平成19年度から地元小豆島町が委託先となって実施することにより、地元の協力を得られやすく、効率的かつ円滑な運営を図ることができている。		
県単独で実施する理由	参加者は、県内全域から広く一般公募しており、特定の団体と共催又は実行委員会形式で行うことはふさわしくないため。		
財 源 内 訳	事業費 3,455,390円		投入職員数 34人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 3,455,255円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(預金利子) 135円 		準備期間 30人日 実施期間 4人日
		委託の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容 全部

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.8	H19.8	H20.7	H21.7	H22.8
事業費	4,113,187	2,672,987	2,898,471	3,455,390	4,009,105
県費	4,112,348	2,672,609	2,898,172	3,455,255	4,008,954
参加者数	104	81	84	117	99

イベントの概要

番号	イベントの名称	5	さぬき映画祭2009
実施期間	開始 平成18年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県、さぬき映画祭実行委員会、(財)置県百年記念香川県芸術文化振興財団、文化庁		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(実行委員会委員：高松リビング新聞社編集長、香川短期大学教授、フリーアナウンサー、四国学院大学教授、四国経済産業局広報係長、e-とびあ・かがわ事務局長)		
対象者	一般県民		
参加者数	予定 延べ 6,000人 ⇒ 実績 延べ 7,231人		
開催日	平成21年11月13日～11月28日 [14日間]		
開催場所(会場名)	高松市(サポートホール高松第1小ホール、e-とびあ・かがわBBQ工房) 丸亀市(綾歌総合文化会館)、観音寺市(観音寺市民会館)、東かがわ市(ベッセルおおち)、土庄町(土庄町立中央公民館)、三木町(三木町文化交流プラザ)、琴平町(琴平町文化会館)		
イベント等の目的	<p>平成13年4月の「香川フィルムコミッション事業」開始以来、ロケ撮影を誘致・支援し、映画では多数の作品が全国公開され、県の知名度アップや地域の活性化につながっています。</p> <p>こうした映画に対する関心の高まりを通じ、映画・映像文化による地域文化の振興と香川の活性化につなげていくため、「さぬき映画祭」を開催している。</p>		
実施内容(概要)	香川ゆかりの映画や香川未公開の作品など地域色豊かな映画の上映、トークショー、こども活弁(ワークショップ)、香川をイメージする映像作品企画募集と優秀企画映像作品の上映、映像塾シナリオ講座、シネマキャラバン		
目的の成果をあげるために工夫した点	香川をイメージする映像作品企画募集を行い、県内外からの応募者による香川のよさの映像化。		
共催・実行委員会形式で実施する理由	官民が協力して実施することにより、実施目的を達成することができるので、民意を反映できる実行委員会形式で実施している。		
財源内訳	事業費 25,762,255円		投入職員数 428人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 10,305,458円 ・国費 13,041,789円 ・参加者負担金(入場料) 906,525円 ・その他(置県財団補助金) 330,483円 ・受講料収入 558,000円 ・負担金収入 620,000円 		内訳 準備期間 365人日 実施期間 63人日
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	JR主要100駅ポスター掲示		委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 委託の内容 ・上映業務 ・フィルム調達業務 ・こどもワークショップ業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位：円、人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22(見込)
事業費	32,735,280	28,039,507	22,962,957	25,762,255	20,724,000
県費	19,367,778	17,674,232	15,503,512	10,305,458	12,724,000
参加者数	5,016	5,719	5,078	7,231	6,654

イベントの概要

番号	イベントの名称	7	消費者生活相談員養成のための基礎セミナー	
実施期間	開始 平成21年度～終了(予定) 平成23年度(1年に1回実施)			
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他			
実施主体名	香川県			
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(委託先) 香川県消費者団体連絡協議会			
対象者	消費者問題に関心のある者			
参加者数	予定 延べ 250人 ⇒ 実績 延べ 167人			
開催日	平成22年1月30日 平成22年2月6日 平成22年2月13日 平成22年2月27日 平成22年3月6日 [5日間]			
開催場所(会場名)	高松市(高松市市民文化センター)			
イベント等の目的	消費者問題に関する法律や専門知識などを身につけ、自ら消費者被害にあわないようにすると共に、身近な相談者となれる消費者リーダーを養成することを目的とする。			
実施内容(概要)	5日間にわたり、午前・午後に1講座ずつ、計10講座を実施			
目的の成果をあげるために工夫した点	一般の人が参加しやすいよう土曜日に実施。			
県単独で実施する理由	県が定めた消費者行政活性化計画の方針であり、県がすべき内容であるため。			
財源内訳	事業費 512,362円		投入職員数 7人日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 ・国費(消費者行政活性化基金) 512,362円 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 		準備期間 2人日 実施期間 5人日	
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容		なし	委託の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
			委託の内容	全部

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度	H21	H22(見込)			
事業費	512,362	2,700,000			
県費	512,362	2,700,000			
参加者数	167	340			

イベントの概要

番号	イベントの名称	8	平成21年度総合防災訓練
実施期間	開始 昭和51 ~ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	(主唱) 香川県防災会議、観音寺市防災会議		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)			
対象者	防災関係機関、県民		
参加者数	予定 延べ 1,000人 ⇒ 実績 延べ 1,000人		
開催日	平成21年9月5日 [1日間]		
開催場所(会場名)	観音寺市(県立琴弾公園、有明グランド)		
イベント等の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災関係機関の連携強化等による災害応急対策の迅速化、的確化 ・ 自主防災組織の育成強化、県民の防災意識の高揚 		
実施内容(概要)	実働による風水害対策訓練、震災対策訓練、防災展示等		
目的の成果をあげるために工夫した点	平成16年の台風災害から5年を経過するため、震災対策訓練に加え、風水害対策訓練を実施。 地域の特性に沿った訓練を実施。 自主防災組織が参加しやすい休日開催。		
共催で実施する理由	災害対策基本法等に防災訓練の実施が規定されている。また、香川県防災対策基本条例で市町と県が連携し実施に努めるよう規定している。		
財源内訳	事業費 3,872,662円		投入職員数 202人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般財源 3,572,662円 ・ 国費 ・ 市町費 300,000円 ・ 参加者負担金 ・ その他 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 150人日 実施期間 52人日 (西讃土木事務所等分含む) 	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容 会場設営等

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.9	H19.9	H20.9	H21.9	H22.9
事業費	4,504,500	4,088,070	4,662,000	3,872,662	3,138,177
県費	4,504,500	4,088,070	3,662,000	3,572,662	2,838,177
参加者数	約600	約6,000	約1,200	約1,000	約800

イベントの概要

番号	イベントの名称	9	「かがわ山の日」宣言記念第54回香川県植樹祭		
実施期間	開始 昭和26年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)				
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他				
実施主体名	香川県				
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)					
対象者	県民				
参加者数	予定 延べ 250人 ⇒ 実績 延べ 260人				
開催日	平成21年11月7日 [1日間]				
開催場所(会場名)	三豊市山本町(宝山湖周辺)				
イベント等の目的	森林林業関係者が毎年11月11日を「かがわ山の日」と宣言したことを記念して、第54回植樹祭を宝山湖で開催し、緑の大切さ、重要性に対する県民の理解を深め、水源のかん養を図るため、県民総参加の緑づくりを行う。				
実施内容(概要)	記念植樹、「かがわ山の日」宣言、「かがわ山の日」宣言看板設置 参加者による植樹(約700本)				
目的の成果をあげるために工夫した点	地元小学校やボーイスカウト、企業、ボランティア団体はもとより、広く県民を対象に参加を募集した。また、植樹指導者として、森林づくり活動のリーダーである「かがわフォレスター」や「緑づくりアドバイザー」に依頼し、県民総参加で森林づくり活動を推進した。				
県単独で実施する理由	緑の大切さ、森林の水源かん養機能など森林の多目的機能に対する県民の理解を深めるという普及啓発は、本来、県が主体となって実施すべきであるため。				
財 源 内 訳	事業費 3,792,839円		投入職員数 83.5人日		
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 492,839円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(寄附金) 1,900,000円 ・その他(オリーブ基金) 1,400,000円 		<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 75人日 実施期間 8.5人日 		
企業・関係団体からの 協賛金・援助の内容		企業からの寄附金 植樹祭への参加		委託の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				委託の内容	植栽補助業務 会場設営業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.11	H19.10	H20.11	H21.11	H22.11
事業費	2,700,000	1,650,000	1,212,000	3,792,839	3,000,371
県費	2,700,000	1,650,000	1,212,000	3,792,839	3,000,371
参加者数	280	130	230	260	260

イベントの概要

番号	イベントの名称	10	「かがわ山の日」宣言記念シンポジウム
実施期間	開始 平成21年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	財団法人かがわ水と緑の財団		
対象者	県民		
参加者数	予定 延べ 300人 ⇒ 実績 延べ 300人		
開催日	平成21年11月14日 [1日間]		
開催場所(会場名)	高松市(高松シンボルタワー、かがわ国際会議場)		
イベント等の目的	<p>森林・林業関係者が毎年11月11日を「かがわ山の日」と宣言したことを記念して、森林の持つ多種多様な機能を学び、みどりの大切さや森林の重要性の理解を広めるため、広く県民を対象にシンポジウムを開催した。</p>		
実施内容(概要)	<p>緑化コンクール入賞者表彰式、記念講演会、トークショー、パネルディスカッションの実施</p>		
目的の成果をあげるために工夫した点	<p>香川県情報発信アドバイザーの植松おさみ氏を総合司会に、香川の森林の持つ新たな可能性をテーマとした講演会や、女優、吉本多香美さんを招へいしたトークショー、森林ボランティア団体代表者等を招いてのパネルディスカッションを実施し、県民が興味をもつような内容とした。</p> <p>緑化コンクールの入賞者の表彰を併せて行い、小中学生の緑化の普及啓発を行った。</p>		
共催で実施する理由	<p>財団法人かがわ水と緑の財団にも経費負担を依頼し、県費負担の軽減を図った。</p>		
財 源 内 訳	事業費 928,809円		投入職員数 80人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 261,450円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(財団負担金) 667,359円 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 75人日 実施期間 5人日 	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容 会場設営業務 音響・照明・看板等作成業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H21.11	H22.11			
事業費	928,809	1,398,088			
県費	261,450	1,398,088			
参加者数	300	300			

イベントの概要

番号	イベントの名称	11	福祉・介護について考えるシンポジウム等
実施期間	開始 平成21年度 ～ 終了(予定)平成23年度(1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	香川県介護福祉士養成校連絡協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県老人保健施設協議会、財団法人かがわ健康福祉機構、社会福祉法人香川県社会福祉協議会、香川県福祉人材センター、香川県介護福祉士会		
対象者	県民		
参加者数	予定 延べ 1,000人 ⇒ 実績 延べ 894人		
開催日	1 平成21年10月17日～10月18日 2 平成21年10月25日 3 平成21年11月11日 [4日間]		
開催場所(会場名)	1 高松市(仏生山公園) 2 綾川町(イオン綾川フラワーコート) 3 高松市(アルファあなぶきホール小ホール)		
イベント等の目的	福祉・介護の仕事及び「介護の日」に関する普及啓発を行い、福祉・介護の仕事のイメージアップ及び人材の安定的確保を図る。		
実施内容(概要)	1 「介護の日」啓発キャンペーン 2 介護と食育のキャンペーン 3 福祉・介護について考えるシンポジウム、「介護の日」啓発パレード		
目的の成果をあげるために工夫した点	幅広い世代の県民に関心を持ってもらうため、介護に関連する食育と併せてのキャンペーンを実施した。		
共催で実施する理由	県内の介護に関する団体間の連携を深めるとともに、本イベント終了後に各団体における自発的な活動を促すため。		
財源内訳	事業費 3,990,000円		投入職員数 61人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 ・国費(障害者自立支援臨時特例基金) 3,990,000円 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 40人日 実施期間 21人日 	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容 全部

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H21.10~11	H22.11			
事業費	3,990,000	3,000,000			
県費	3,990,000	3,000,000			
参加者数	894	666			

イベントの概要

番号	イベントの名称	1 2	香川県 8 0 2 0 運動推進業務（口腔保健啓発業務）			
実施期間	開始 昭和 5 7 年度 ～ 終了（予定） 未定 （1年に1回実施）					
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他					
実施主体名	香川県					
共催団体等の名称 （実行委員会の構成団体名）	（委託先）社団法人香川県歯科医師会 各郡市歯科医師会、香川県歯科衛生士会、香川県歯科技工士会、香川県 歯科用品商組合、各市町					
対象者	県民					
参加者数	予定 延べ 10,000人 ⇒ 実績 延べ 8,099人					
開催日	平成 21 年 6 月 7 日、6 月 1 4 日〔2日間〕					
開催場所（会場名）	高松市（高松市歯科救急医療センター、国分寺保健センター） 丸亀市（丸亀市保健福祉センター）、坂出市（坂出市民ふれあい会館） 善通寺市（善通寺市民会館）、観音寺市（観音寺市保健センター） 東かがわ市（東かがわ市大内公民館）、小豆郡（小豆島町農村環境改善セ ンター）、木田郡（三木町文化交流プラザ）、綾歌郡（宇多津町保健セン ター）、仲多度郡（琴平小学校体育館）、三豊市（高瀬町農村環境改善セ ンター）					
イベント等の目的	歯の衛生週間に合わせて歯の健康に関する正しい知識を県民に対して 普及啓発するとともに、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を図り、 併せてその早期発見、早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、 もって県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。					
実施内容（概要）	健診、歯科相談、染色、フッ素塗布、はみがき指導、イベント等					
目的の成果をあげる ために工夫した点	県民に身近な各郡市歯科医師会において、地域の特性に応じた内容を 検討し、咬合力検査、口腔内カメラ、RDテスト（むし歯の原因菌数の 測定）、ペリオスクリーン検査（唾液で歯周病をチェック）等、歯科保健 への関心を高める検査を取り入れる等、創意工夫を行った。					
共催で実施する理由	歯科保健行動の改善につながる広域的な普及啓発事業であり、毎年の 恒例行事として定着しており、参加者も多く、県として参画することが 有効であるため。					
財 源 内 訳	事業費 6,600,000円			投入職員数 6.5人日		
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 2,000,000円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他（県歯科医師会） 4,600,000円 			準備期間 5人日 実施期間 1.5人日		
企業・関係団体からの 協賛金・援助の内容			歯ブラシ、ゲームの景品、保育所職員の紙 芝居等		委託の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
					委託の内容	全部

直近5回のイベントの事業費（県費）、参加者数の推移

（単位：円、人）

年月	H18.6	H19.6	H20.6	H21.6	H22.6
事業費	6,600,548	6,650,330	6,681,080	6,600,000	6,558,760
県費	2,100,000	2,100,000	2,208,000	2,000,000	1,932,000
参加者数	10,987	9,786	8,520	8,099	7,512

イベントの概要

番号	イベントの名称	13	家族で食べたいバランスメニューコンテスト
実施期間	開始 平成20年度 ～ 終了(予定)平成22年度(1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施主体名	西讃地区食育推進ネットワーク会議		
共催団体等の名称 (ネットワーク会議の構成団体名)	(西讃保健福祉事務所、西讃農業改良普及センター、観音寺市、三豊市、(社)三豊・観音寺市医師会、香川農政事務所、JA香川県三豊地区本部、JA香川豊南、西詫間漁協三崎女性部、(社)県栄養士会西讃地区等)		
対象者	西讃地区に居住若しくは勤務		
参加者数	予定 延べ 140人 ⇒ 実績 延べ 216人		
開催日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集期間 平成21年7月1日～9月30日 ・ 書類審査 平成21年10月13日 ・ 実演審査 平成21年11月8日 [94日間] 		
開催場所(会場名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募先・書類審査会場 観音寺市(西讃保健福祉事務所) ・ 実演審査会場 観音寺市(瀬戸内短期大学調理実習室) 		
イベント等の目的	西讃地区食育推進ネットワーク会議で、家族で食べる食事の大切さを普及推進するために「家族で食べたいバランスメニュー」を募集し、審査の結果、優秀作品をメニュー集にして普及啓発を図る。		
実施内容(概要)	「家族で食べたいバランスメニュー」を募集し、書類審査と実演審査を行い優秀作品を選定しメニュー集を作成する。		
目的の成果をあげるために工夫した点	前年度の優秀作品集を県庁東館ロビーに食育月間の6月に展示したり、西讃保健福祉事務所のホームページに掲載、また、各種の食育イベントにおいて献立の写真やレシピ等を掲示したり、試食を提供するなどPRに努めた。		
共催・実行委員会形式で実施する理由	食育アクションプランに基づく県の施策を推進するため、西讃地区食育ネットワーク会議には、管内2市の食育関係部署や関係団体等に参画してもらっており、その協力の下に実施することにより、より効率的かつ効果的な事業の推進を図ることができる。		
財源内訳	事業費 118,075円		投入職員数 28人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般財源 118,075円 ・ 国費 ・ 市町費 ・ 参加者負担金 ・ その他 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 13人日 実施期間 15人日 	委託の状況
委託の状況			<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	副賞として地場産品(米、キウイフルーツ、みかん等)の提供		委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H20.9~21.2	H21.7~21.11	H22.7~21.11		
事業費	90,000	118,075	84,002		
県費	90,000	118,075	84,002		
参加者数	応募138人 書類審査21人 実演審査8人	応募216人 書類審査25人 実演審査7人	応募145人 書類審査20人 実演審査6人		

イベントの概要

番号	イベントの名称	14	第29回サンサン祭り
実施期間	開始 昭和56年度 ~ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	サンサン祭り実行委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	香川県、NPO法人香川県ボランティア協会 (香川県、NPO法人香川県ボランティア協会、(財)香川県身体障害者協会、香川労働局、県共同募金会、(社)香川県作業療法士会、関係社会福祉法人、関係NPO法人等 計100団体)		
対象者	一般県民		
参加者数	予定 延べ 30,000人 ⇒ 実績 延べ 30,000人		
開催日	平成21年4月26日 [1日間]		
開催場所(会場名)	高松市(サンポート高松)		
イベント等の目的	1981年の国際障害者年を記念して、障害のある人となない人とボランティアの3者が集い、交流を深める。		
実施内容(概要)	車椅子体験ラリー、障害者団体等による飲食及び物品販売、障害者団体等によるステージイベント		
目的の成果をあげるために工夫した点	ボランティアの積極的参加、肢体不自由者のためのバリアフリーの会場の選定、小・中・高校生の人権教育の一環としてハンディキャップ体験やボランティア体験などの体験型プログラムの導入、障害者の主体的な参加を促すためのステージでの出演を積極的に導入		
共催・実行委員会形式で実施する理由	国際障害者年市民実行委員会が、当時の前川県知事に、国際障害者年を記念して市民レベルで開催するイベントとして、サンサン祭りを提案したところ、知事が積極的に支援したいとして、県が共催する現在の形式で開催が始まった。		
財源内訳	事業費 4,395,400円		投入職員数 5人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 1,800,000円 ・市町費 100,000円 ・参加者負担金 150,400円 ・協賛金 1,400,000円 ・寄附金 10,000円 ・その他(負担金) 935,000円 	内訳 準備期間 3人日 実施期間 2人日	
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容		広告料、スナック菓子、米、卵、飲料水、トートバック	
		委託の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
委託の内容		会場設営業務 警備業務	

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.10	H19.4	H20.4	H21.4	H22.4
事業費	6,110,500	4,904,000	4,863,500	4,395,400	4,674,700
県費	2,000,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
参加者数	約30,000	約30,000	約30,000	約30,000	約30,000

イベントの概要

番号	イベントの名称	15	国外・国内知的財産相談会
実施期間	開始 平成20年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	四国経済産業局 日本貿易振興機構香川貿易情報センター(ジェトロ香川)		
対象者	県内事業者等		
参加者数	予定 延べ 5件(5人) ⇒ 実績 延べ 6件(13人)		
開催日	平成22年3月15日 [0.6日間]		
開催場所(会場名)	高松市(香川県庁12階第7会議室)		
イベント等の目的	県内事業者等に対する国内・国外における商標問題や模倣品対策等に関する情報提供を行う。		
実施内容(概要)	知的財産の専門家による国内・国外の知的財産権や模倣品対策等に関する個別相談会を開催した。		
目的の成果をあげるために工夫した点	海外の商標問題等に詳しい相談員の選定及び相談内容の事前把握		
共催で実施する理由	それぞれの機関で関連した事業を行っていたこと、海外の商標問題等についての情報やノウハウを有していることから連携して事業を実施した。		
財 源 内 訳	事業費 116,540円		投入職員数 2.6人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 116,540円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 		準備期間 2人日 実施期間 0.6人日
		委託の状況	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容		なし	
		委託の内容	

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H21.3	H22.3			
事業費	96,540	116,540			
県費	96,540	116,540			
参加者数	4件(8人)	6件(13人)			

イベントの概要

番号	イベントの名称	16	高温高圧流体技術研究所の成果発表・特別講演会
実施期間	開始 平成11年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施主体名	(補助金交付団体) かがわ産業支援財団		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)			
対象者	県内企業		
参加者数	予定 延べ 50人 ⇒ 実績 延べ 53人		
開催日	平成21年6月29日 [1日間]		
開催場所(会場名)	高松市(香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室)		
イベント等の目的	超臨界流体・マイクロ波利用技術や当研究所の研究内容に理解を深めてもらうとともに、広く産業界の技術革新を支援する。		
実施内容(概要)	東京大学大学院農学生命科学研究室准教授 牧野義雄氏による特別講演「科学の眼で見る食の安全保障」及び当研究所の研究者による平成20年度研究成果の発表(6題)。		
目的の成果をあげるために工夫した点	著名な研究者の講演を行ったり、研究内容や講演内容が理解しやすいように要旨集を配布するなど、多くの企業に参加・理解してもらえるような工夫をした。		
補助金を交付する理由	高温高圧流体技術に関する研究開発により企業の創造的な事業活動や技術革新を支援するため。		
財源内訳	事業費 207,328円		投入職員数 0人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 207,230円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(自主財源) 98円 		準備期間 0人日 実施期間 0人日
			委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H18.6	H19.6	H20.7	H21.6	H22.6
事業費	139,321	280,895	70,225	207,328	273,690
県費	139,125	280,895	70,225	207,230	253,880
参加者数	60	69	83	53	49

イベントの概要

番号	イベントの名称	17	まるく 09香川まぢめぐりてくてくさぬき
実施期間	開始 平成21年度 ～ 終了 平成21年度 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	09香川まぢめぐりてくてくさぬき実行委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(香川県、高松市、(社)香川県観光協会、高松ホテル旅館料理協同組合、 県商工会議所連合会、県商工会連合会、(社)香川経済同友会、(財)高松観光コンベンション・ビューロー、 県ホテル旅館生活衛生同業組合、四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、(社)香川県バス協会 等)		
対象者	県内外の観光客(主に近畿地区、中国地区、四国地区)		
参加者数	予定 設定なし ⇒ 実績 延べ 3,405,570人		
開催日	平成21年4月1日～12月31日 [275日間]		
開催場所(会場名)	県下全域		
イベント等の目的	「まち歩き」をはじめ、香川ならではの歴史文化、自然、食等「香川の素顔」が体感できるメニューを揃え、新たな滞在型の旅行ニーズを中長期的に創出する契機づくり。		
実施内容(概要)	1 まち歩き、2 子供向けの体験プログラム、3 瀬戸内海クルーズ 4 文化財等の特別公開 5 さぬき食フェスタ 6 全国まちあるき観光サミット(県事業部分3、5、6)		
目的の成果をあげるために工夫した点	事業終了後も継続できるよう、市町など関係機関からの自発的な企画を尊重した。 県下全域の事業として、県内外への情報発信に努めた。		
実行委員会形式で実施する理由	県のみならず、各市町、関係団体、有識者などから構成される実行委員会で実施することにより、関係者の意見が反映しやすく、また、県下での実施の事業として実施しやすい。 県が参画することにより、県下全域での取組みとしてPRできる。		
財源内訳	事業費 33,743,621円		投入職員数 1,325人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 33,734,235円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(利子等) 9,386円 	準備期間 21人日 実施期間 1,304人日	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容 さぬき食のフェスタ会場設営及び運営業務 広告・広報業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度(年月)	H20	H21			
事業費	8,999,140	33,743,621			
県費	8,999,140	33,743,621			
参加者数	—	3,405,570			

イベントの概要

番号	イベントの名称	18	フラワーフェスティバルかがわ2010
実施期間	開始 昭和63年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	花の里かがわ推進委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(香川県、県花き園芸協会、JA、(株)高松花市場、県花卉商業協同組合、農林中央金庫高松支店、県連合自治会、(財)香川県老人クラブ連合会、県婦人団体連絡協議会、県生活研究グループ連絡協議会、等) [同時開催：たかまつ食と農のフェスタ、主催：たかまつ食と農のフェスタ実行委員会]		
対象者	一般県民		
参加者数	予定 延べ 50,000人 ⇒ 実績 延べ 50,000人		
開催日	平成22年2月27日、2月28日 [2日間]		
開催場所(会場名)	高松市(サンメッセ香川大展示場)		
イベント等の目的	本県花き生産者の生産技術の向上・改善を図るとともに、県民の県産花きへの関心を高め、日常生活での花の普及定着と花き産業の発展を図る。		
実施内容(概要)	香川県花き品評会、フラワーアレンジメントコンクール 花き即売、園芸教室、園芸相談コーナー等		
目的の成果をあげるために工夫した点	経費節減に努めるとともに、ボランティアの協力などを得て、住民参加型のイベントとした。		
実行委員会形式で実施する理由	県産花きの振興と、需要の拡大、花のある生活提案等の目的が、県の施策と合致しているため。		
財源内訳	事業費 5,148,006円		投入職員数101人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 1,345,000円 ・団体交付金 80,000円 ・団体負担金 2,335,648円 ・園芸教室受講料 38,000円 ・出展者小間代 1,031,000円 ・後援副賞代 49,000円 ・その他(繰越金等) 269,358円 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 56人日 実施期間 45人日 	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	賞状、副賞(盾、トロフィー)の提供		委託の内容 設営・交通整理・会場清掃業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位：円、人)

年月	H18.2	H20.2	H21.2	H22.2	H23.2(見込)
事業費	8,895,253	6,603,387	6,106,832	5,148,006	4,200,000
県費	5,945,000	3,500,000	2,575,000	1,345,000	363,000
参加者数	50,000	50,000	50,000	50,000	53,000

H19は、ジャパンフラワーフェスティバル in かがわの開催のため、休止。

イベントの概要

番号	イベントの名称	19	第9回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト
実施期間	開始 平成12年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)			
対象者	一般県民		
参加者数	予定 延べ 80人 ⇒ 実績 延べ 74人		
開催日	・応募期間 平成21年4月1日～11月30日 ・審査会 平成22年2月5日 ・展示期間 平成22年4月19日～23日(県庁ギャラリー) 4月25日(地元説明会)、6月11日(水口祭) 6月15日(満濃池ゆる抜き)、7月17日(高松駅) 7月23日(ふるさと水と土推進委員会) 9月9日(農業農村工学会) [256日間]		
開催場所(会場名)	県下一円		
イベント等の目的	美しい農村風景の写真を通じて、農村の持つ多面的機能や公益的機能の素晴らしさを再発見し、県民がその理解を深める。		
実施内容(概要)	・作品募集 ・応募作品の審査を行い、入賞作品の決定 ・県庁ギャラリーやイベント会場にて展示するなどの広報活動を実施		
目的の成果をあげるために工夫した点	入賞作品を県庁ギャラリーやイベント会場にて展示するほか、ホームページでの公開や各種パンフレット等にも活用するなど、広報活動に努めている。		
県単独で実施する理由	国の実施要領に基づき、県が積み立てた基金運用益の範囲内で県独自の中山間地域の活性化方策に取り組むこととされているため。		
財源内訳	事業費 713,120円(中山間ふるさと水と土基金)		投入職員数 15人日
	・一般財源 ・国費 229,290円 ・市町費 ・その他(基金運用益) 458,580円 ・その他(関係団体) 25,250円		準備期間 13人日 実施期間 2人日
		委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	副賞・盾の提供		委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度(年月)	H18	H19	H20	H21	H22
事業費	833,590	815,632	704,225	713,120	713,820
県費	538,893	526,921	452,650	458,580	459,047
参加者数	85	72	72	74	86

イベントの概要

番号	イベントの名称	20	第8回新たなかがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー
実施期間	開始 平成17年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に2回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施主体名	かがわグリーン・ツーリズム推進協議会		
共催団体等の名称 (総合戦略推進会議の会員)	(香川大学教授、香川経済同友会専務常任幹事、どんぐりネットワーク、 (株)農協観光香川支店長、(有)広野牧場代表取締役、小豆島グリーンツーリズムネットワーク事務局、県観光振興課主任)		
対象者	一般県民		
参加者数	予定 延べ 10人 ⇒ 実績 延べ 8人		
開催日	平成21年12月20日 [1日間]		
開催場所(会場名)	まんのう町川東(川奥そば道場、いきいき館)		
イベント等の目的	体験ツアーの実施による都市住民へのグリーン・ツーリズムのPRと受入施設(実践者)の体験メニューや指導方法の改善に役立てることを目的に実施している。		
実施内容(概要)	そば打ち体験、木工クラフト体験、美霞洞渓谷の散策		
目的の成果をあげるために工夫した点	体験ツアーのモデルコース(現在24モデル)の選定や体験ツアーの実施内容について、有識者の方々の意見をききながら実施計画を作成している。		
協議会形式で実施する理由	モデルコースについては、協議会会員である各市町より提案していただいており、イベントの実施及びグリーン・ツーリズムの普及には、各市町の協力が欠かせないため。		
財 源 内 訳	事業費 45,720円		投入職員数 10人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 45,720円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 		<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 7人日 実施期間 3人日
		委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容		なし	
		委託の内容	

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H20.11	H21.9	H21.12	H22.5	H22.10
事業費	2,400	0	45,720	80,450	57,890
県費	2,400	0	45,720	80,450	57,890
参加者数	28	42	8	27	38

イベントの概要

番号	イベントの名称	21	住まいづくり講座
実施期間	開始 平成12年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input checked="" type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)			
対象者	県民		
参加者数	予定 延べ 70人 ⇒ 実績 延べ 44人		
開催日	平成22年3月19日 [1日間]		
開催場所(会場名)	高松市(香川県社会福祉総合センター 第1中会議室)		
イベント等の目的	良質な住宅建設促進のための情報提供		
実施内容(概要)	住まいと環境社代表の野池政宏氏を講師に「省エネ住宅ポイント」、「省エネと快適を両立させる暮らし方」について講演、その後、職員が住宅版エコポイントの概要について説明を行った。		
目的の成果をあげるために工夫した点	その時々 ^の 社会的関心事に沿った内容とすることで、講座の効果も高まると考えており、今回は、住宅版エコポイント制度のスタートに併せて省エネ住宅をテーマとした。		
県単独で実施する理由	良質な情報提供は、県としての本来業務であり、イベントもその一環であるため。		
財源内訳	事業費 160,630円		投入職員数 10.5人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 88,630円 ・国費 72,000円 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他 		<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 7.5人日 実施期間 3人日
			委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度(年月)	H18.2	H19.3	H20.3	H20.12	H22.3
事業費	300,000	296,000	294,000	288,750	160,630
県費	300,000	296,000	294,000	288,750	160,630
参加者数	61	61	60	52	44

イベントの概要

番号	イベントの名称	22	第20回県民スポーツ・レクリエーション祭
実施期間	開始 昭和63年度～終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	県民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、県教育委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	(財)香川県体育協会、香川県体育指導委員連絡協議会、NPO法人香川県レクリエーション協会 ((財)香川県体育協会、香川県体育指導委員連絡協議会、各スポーツ協会等)		
対象者	県民		
参加者数	予定 延べ 12,000人 ⇒ 実績 延べ 9,339人		
開催日時	平成21年9月6日～11月1日 [9日間]		
開催場所(会場名)	・スポーツ大会は、県内各会場 ・ふれあいスポレク、レクリエーション大会は、サンポート高松とその周辺		
イベント等の目的	子どもから高齢者まで、県民のだれもが気軽に、それぞれの年齢や体力、目的に合わせてスポーツやレクリエーション活動に親しみ、生涯にわたり、健康で豊かなスポーツライフを営む契機となる祭典とする。		
実施内容(概要)	・スポーツ大会22種目(内1種目中止) ・レクリエーション大会4種目 ・ふれあいスポレク広場14種目及び参画ブース(体験コーナー)		
目的の成果をあげるために工夫した点	主管団体の選手登録などをしなくても参加できたり、年齢制限や親子での参加が可能な種目などを取り入れることにより、イベントや大会に参加しやすい内容としている。		
共催・実行委員会形式で実施する理由	多くのスポーツ活動の参加する機会を提供するために、スポーツやレクリエーションを統括する団体との協働が必要であるため。		
財源内訳	事業費 1,717,406円		投入職員数 77人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 1,400,000円 ・国費 ・市町費 ・協賛金 200,000円 ・その他(繰越金等) 117,406円 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 60人日 実施期間 17人日 	委託の状況
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	飲料水の提供		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 委託の内容 会場設営

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
事業費	6,340,529	4,622,296	2,651,224	1,717,406	1,992,757
県費	2,730,000	2,100,000	1,450,000	1,400,000	1,014,000
参加者数	9,778	12,347	11,284	9,339	10,503

イベントの概要

番号	イベントの名称	23	第64回香川丸亀国際ハーフマラソン大会
実施期間	開始 昭和22年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input type="checkbox"/> その他		
実施主体名	丸亀市、香川県教育委員会、香川陸上競技協会、香川丸亀国際ハーフマラソン大会組織委員会		
共催団体等の名称 (実行委員会の構成団体名)	香川県、OHK岡山放送、産経新聞社、サンケイスポーツ、(財)OHKスポーツ振興財団香川 (丸亀市、県教育委員会、香川陸上競技協会、坂出市、宇多津町等)		
対象者	一般、高校生、中学生、小学生		
参加者数	予定 延べ 8,550人 ⇒ 実績 延べ 8,932人		
開催日時	平成22年2月6日から2月7日まで [2日間]		
開催場所(会場名)	丸亀市、宇多津町、坂出市 (香川県立丸亀競技場及び香川県丸亀競技場付設マラソンコース)		
イベント等の目的	国内外のトップクラスの選手をみることによる本県のスポーツの振興、県外からの多くの来場者によるにぎわいの創出		
実施内容(概要)	ハーフマラソン大会の開催、1km競争・3km競争の実施 ジョギング教室、小学生ランニング教室、ウォーキング大会の実施		
目的の成果をあげるために工夫した点	走りやすいコースの設定、にぎやか村(さぬきうどんなどの飲食店、スポーツショップ)の開催		
共催・実行委員会形式で実施する理由	県の政策課題(スポーツの振興・にぎわいの創出)に寄与する大会であり、関係団体等と綿密な連絡調整が必要となるため。		
財源内訳	事業費 94,085,269円		投入職員数 145人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 12,500,000円 ・国費 ・市町費 13,000,000円 ・参加者負担金 35,058,820円 ・協賛金 27,536,704円 ・招待選手招へい資金引当金等 5,989,745円 	<ul style="list-style-type: none"> 準備期間 71人日 実施期間 74人日 	委託の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	ポスターの掲示、タイマー・審判車・ドリンクの提供、救護車の運転等		委託の内容 記録計測業務、会場設営業務、警備業務、参加申込受付・処理業務、規制看板等制作業務

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年月	H19.2	H20.2	H21.2	H22.2	H23.2(見込)
事業費	67,635,264	71,875,731	82,621,591	94,085,269	94,000,000
県費	5,000,000	3,500,000	15,000,000	12,500,000	12,500,000
参加者数	5,041	5,598	7,667	8,932	10,764

イベントの概要

番号	イベントの名称	24	防犯アカデミー2009
実施期間	開始 平成20年度 ～ 終了(予定) 未定 (1年に1回実施)		
開催形式	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会形式 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施主体名	香川県安全・安心まちづくり推進協議会		
共催団体等の名称 (協議会の構成団体名)	((財)香川県防犯協会連合会、(財)香川県交通安全協会、(財)香川県老人クラブ連合会、(社)香川県建設産業団体連合会、県連合自治会、県青年団体協議会、県PTA連絡協議会、県地域活動連絡協議会、県交通安全母の会連合会、県地域安全推進委員協議会、県少年指導委員連絡協議会、県少年警察補導員連絡協議会、県地域交通安全活動推進委員協議会、県安全運転管理連絡協議会、市長会、町村会、国土交通省四国地方整備局、香川県、県教育委員会)		
対象者	18歳以上の香川県民で、アカデミー終了後、防犯リーダーとして活動する意欲のある方		
参加者数	予定 延べ 220人 ⇒ 実績 延べ 166人		
開催日	平成21年10月12日、10月18日、10月25日、11月3日〔4日間〕		
開催場所(会場名)	高松市(ミューズホール)		
イベント等の目的	自主防犯活動を活性化し、犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくりを進めるため安全・安心まちづくりリーダーを養成。		
実施内容(概要)	リーダー養成講座として、4日間にわたり計12講座を開講。最終日には公開講座として、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)伊坂氏による講演を行った。		
目的の成果をあげるために工夫した点	地域安全マップ作成実習としてフィールドワークを取り入れ、知識の伝達にとどまらないようにした。		
協議会形式で実施する理由	香川県安全・安心まちづくり推進協議会は、知事部局・教育委員会・警察及びボランティア団体と情報交換し、協働していく組織であるため。		
財源内訳	事業費 458,636円		投入職員数 160人日
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源 213,730円 ・国費 ・市町費 ・参加者負担金 ・その他(県防犯協会連合会) 244,906円 		内訳 準備期間 140人日 実施期間 20人日
企業・関係団体からの協賛金・援助の内容	なし		委託の状況 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 委託の内容

直近5回のイベントの事業費(県費)、参加者数の推移

(単位:円、人)

年度(年月)	H20.10	H21.10~11	H22.10		
事業費	224,414	458,636	965,000		
県費	38,234	213,730	965,000		
参加者数	182	166	118		